

国際共同利用・共同研究拠点の
新規認定に関する要項等について

平成30年5月1日

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点
に関する作業部会

目 次

国際共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項	1
新規認定に係る審議体制	10
新規認定の書面審議票（様式）	11
新規認定に関するヒアリング実施要領	15
新規認定のヒアリング審議票（様式）	16
新規認定申請書に関する記入・提出要領	17
新規認定申請書【単独拠点用】	46
新規認定申請書【ネットワーク型拠点・連携ネットワーク型拠点用】	82

国際共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項

平成 30 年 5 月 1 日
科学技術・学術審議会学術分科会
研究環境基盤部会共同利用・共同研究拠点及び
国際共同利用・共同研究拠点に関する作業部会

文部科学大臣が、国際共同利用・共同研究拠点を新規認定するに当たり、本作業部会は、この要項に基づき、専門的見地から審議する。

1. 国際共同利用・共同研究拠点制度の趣旨

国際的に質の高い研究資源を有するとともに、優れた国際協力体制を構築する研究施設を国際共同利用・共同研究拠点として認定することで、当該研究施設が、国内外の学術研究機関のハブとして国際共同研究を牽引する機能の強化を図り、もって我が国の研究力の強化を目指す。

2. 認定の対象

- (1) 一の附置研究所（大学に置かれる研究施設又は研究施設の一部組織をいう。以下同じ。）で構成する国際共同利用・共同研究拠点の認定を希望する場合、認定の対象は国立大学の附置研究所。
- (2) 複数の附置研究所で構成する国際共同利用・共同研究拠点（以下「ネットワーク型拠点」という。）の認定を希望する場合、認定の対象は各々の附置研究所。ただし、中核機関（国際共同利用・共同研究拠点の活動全体に責任を持って中心的役割を果たす附置研究所をいう。以下同じ。）は国立大学の附置研究所とする。
- (3) 附置研究所と附置研究所以外の研究施設で構成する国際共同利用・共同研究拠点（以下「連携ネットワーク型拠点」という。）の認定を希望する場合、認定の対象は各々の附置研究所。ただし、

中核機関は国立大学の附置研究所とする。

3. 審議の基本方針

審議に当たっては、申請施設（国際共同利用・共同研究拠点の認定を受けようとする附置研究所をいう。以下同じ。）が、「共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程」に規定する認定の基準を満たしているかについて確認する。

4. 審議方法

書面、ヒアリング及び合議による審議を行う。

(1) 書面による審議

全ての申請施設を対象として、次のとおり書面による審議（以下「書面審議」という。）を行う。

- ①書面審議では、作業部会の委員及び専門委員会の委員（以下「委員」という。）が、申請書類を確認の上、「5. 審議に当たっての主な観点」に基づき、評価を行う。
- ②委員は、次表により評価を行う。

評 価
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。
「共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程」に定める国際共同利用・共同研究拠点の認定の基準を満たしていない。

- ③審議の参考とするため、必要に応じて有識者に申請施設についての意見書を求めることができる。
- ④書面審議の様式は「新規認定の書面審議票」のとおり。
- ⑤書面審議の結果、申請施設が、明らかに認定の基準を満たして

いないと判断される場合は、ヒアリングによる審議を行わない。

(2) ヒアリングによる審議

書面審議の結果、ヒアリングによる審議（以下「ヒアリング審議」という。）を行うこととされた申請施設については、申請書類等をもとに、作業部会の委員が、ヒアリングを行う。

- ①ヒアリングは「新規認定に関するヒアリング実施要領」により行う。
- ②作業部会の委員は、次表により評価を行う。

評 価
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が特に期待できる。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できる。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が一定程度期待できる。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性を期待するにはやや不十分（不明確）な点がある。
国際共同利用・共同研究拠点としての活動や発展性が期待できない。

- ③審議の参考とするため、必要に応じて有識者に申請施設についての意見書を求めることができる。
- ④ヒアリング審議の様式は「新規認定のヒアリング審議票」のとおり。

(3) 合議による審議

ヒアリング終了後、各委員の書面審議及び作業部会の委員のヒアリング審議の結果を踏まえ、合議により認定候補を決定する。

5. 審議に当たっての主な観点

審議に当たっては、以下に示す認定の基準（(1)～(11)）及び各認定の基準に係る審議の観点を総合的に勘案するものとする。

(1) 申請施設が、大学の学則その他これに準ずるものに記載されていること

【審議の観点】

- ① 申請施設が、大学の学則、大学組織規則、研究所組織規程等に明確に位置付けられているか。
- ② ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点の場合、全ての構成施設が①を満たしているか。

(2) 申請施設が、研究実績、研究水準、研究環境、研究者の在籍状況等に照らし、当該申請施設の目的たる研究の分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められること

【審議の観点】

- ① 研究実績やその水準について、研究分野の特性に応じ、論文数、国際共著論文の数・割合、TOP10%補正論文の数・割合、国際共同研究の内容と実施件数、競争的資金（海外のものを含む）の採択状況、国際研究プロジェクトの実施状況等から、当該研究分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。
特に、人文・社会科学分野については、以下の3点を考慮するものとする。
 - ・ 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績
 - ・ 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関・外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書、海外の研究機関の調査報告書等に利用・引用された実績
 - ・ 有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績
- ② 研究環境について、施設、設備、資料、データベース等の整備
 - ・ 利用状況や技術的・事務的な支援体制から、当該研究分野に

において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。

- ③研究者の在籍状況について、例えば、国際学会の長、国際研究プロジェクトの長、国際的な賞の受賞等の経験や科学研究費補助金の採択状況等により卓越性が認められる研究者の在籍の状況から、当該研究分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組が行われているか。
- ④その他、海外との研究者の派遣・受入れの状況、国際協定の締結状況、海外への協力・貢献の状況、国際シンポジウム等の開催状況等から、当該研究分野における国際的に中核的な研究施設であると認められるか。研究活動における不正行為及び研究費の不正使用への対応に関する体制整備がなされているか。

(3) 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等を備えており、これらが、国際的な水準に照らし、質の高いものであると認められること

【審議の観点】

- ①共同利用及び共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等を保有しているか。
- ②共同利用及び共同研究のために保有している施設、設備、資料、データベース等の仕様、稼働状況、利用状況等に鑑み、当該研究分野における国際的な水準に照らして、質の高いものと認められるか。
- ③施設、設備、資料、データベース等が共同利用及び共同研究にどの程度利用されているか。うち海外の研究機関に在籍する研究者（以下「海外研究者」という。）にどの程度利用されているか。

(4) 共同利用・共同研究の実施に関する重要事項であって、申請施設の長が必要と認めるものについて、当該申請施設の長の諮問に応じる機関として、次に掲げる委員で組織する運営委員会等を置き、この委員の数が運営委員会等の委員の総数の二分の一以下

であること

イ 当該申請施設を置く大学の職員

ロ 関連研究者

ハ その他当該申請施設の長が必要と認める者

【審議の観点】

① 研究者コミュニティの意向を適切に反映できる人数・構成となっているか。

(5) 当該申請施設の目的たる研究の分野の国際的な動向を把握し、運営に反映するために必要な体制を整備していること

【審議の観点】

① 申請施設の実情を踏まえ、例えば、海外研究者をアドバイザーや外部評価委員、運営委員会等の委員に任命するなど、当該研究分野の国際的な動向を把握し、運営に反映するために必要な体制が整備されているか。

(6) 共同利用・共同研究の課題等を、広く国内外の関連研究者から募集し、関連研究者その他の申請施設を置く大学の職員以外の者の委員の数が委員の総数の二分の一以上である組織の議を経て採択を行っていること

【審議の観点】

① 研究者コミュニティの意向や当該研究分野の動向等を適切に反映できる人数・構成となっているか。

② 共同利用・共同研究の課題等の募集方法や採択方法が明確になっているか。

③ 国際公募を行っているか。課題等の採択に当たり、国内の関連研究者と海外研究者との間の適切なバランスに配慮しているか。

(7) 共同利用・共同研究に参加する国内外の関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うために必要な体制を整備していること

【審議の観点】

- ① 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が十分配置されているか。
- ② 外国人研究者のため、英語による職務遂行が可能な職員（教員、技術職員、事務職員等）が十分配置されているか。
- ③ 関連研究者に対して、必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。
- ④ 拠点の活動内容に応じて、関連研究者が宿泊できる宿舎が確保されているか。
- ⑤ 支援を行うために必要な体制を整備するに当たり、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が長期にわたり得られる見込みがあるか。

（８）国内外の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料、データベース等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供を広く行っていること

【審議の観点】

- ① 国内外の関連研究者に対して、各種媒体を用いて、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料、データベース等の状況、申請施設の研究成果、支援の内容等の情報の提供を広く行っているか。
- ② 国内の関連研究者向けに、海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等を開催しているか。

（９）共同利用・共同研究に国内外から多数の関連研究者が参加することが見込まれること

【審議の観点】

- ① 共同利用・共同研究の実績（共同研究者数うち海外研究者数）はどの程度か。
- ② 対象となる研究者コミュニティが明確であり、当該拠点がコミュニティにとって必要不可欠であり、当該研究分野の発展に寄

与するものか。

- ③研究者コミュニティの規模や申請施設の規模等を考慮して、国内外から多数の関連研究者の参加が見込まれるか。

(10) 国内外の多数の関連研究者から申請施設を国際共同利用・共同研究拠点として認定するよう要請があること

【審議の観点】

- ①国内外の研究者コミュニティから、国際共同利用・共同研究拠点として認定するよう強い要請があるか。

(11) 将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成に積極的に取り組んでいること

【審議の観点】

- ①若手研究者の自立支援や登用を進め、研究に取り組みやすい環境を整備しているか。
- ②国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成に積極的に取り組んでいるか。
- ③国内外の大学院生を申請施設で受入れ、共同利用・共同研究に参加させるなど大学院生の教育に積極的に関与しているか。
- ④若手研究者の育成の取組に対し、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が長期にわたり得られる見込みがあるか。

【ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点の認定審議に係る留意点】

ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点の認定審議に当たっては、ネットワーク型拠点又は連携ネットワーク型拠点全体として認定の基準に適合しているかについて確認するとともに、中核機関が設定されているかについて確認するものとする。

6. 申請に係る要領及び様式

申請に係る要領及び様式については、「新規認定申請書に関する

記入・提出要領」並びに「新規認定申請書【単独拠点用】」及び「新規認定申請書【ネットワーク型拠点・連携ネットワーク型拠点用】」のとおり。

7. その他

(1) 利害関係者の排除

- ①委員が、申請施設を置く大学に在職（就任予定を含む。）し、又は過去3年以内に在職していた場合
- ②委員の親族が申請施設の構成員となっている場合
- ③その他、委員が申請施設の構成員と密接な師弟関係等にあるなど中立・公正に審議を行うことが困難であると判断される事由がある場合

(2) 機密保持

- ①委員は、審議の過程で知ることのできた情報について外部に漏らしてはならない。
- ②委員は、委員として取得した情報（申請書類等各種資料を含む。）について、審議の終了後、速やかに破棄しなければならない。

(3) 開示・公開

- ①審議の過程は、審議の円滑な遂行の観点から非公開とし、審議に用いる会議資料等についても非公開とする。
- ②申請状況及び審議結果は、ホームページへの掲載等により公開する。
- ③国際共同利用・共同研究拠点として認定されなかった申請施設に対しては、その理由を開示するものとする。

(4) その他

この要項に定めるもののほか、新規認定の審議に関し必要な事項は別に定める。

新規認定に係る審議体制

共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・
共同研究拠点に関する作業部会

専門委員会※

理工学系（大型設備利用型）

理工学系（共同研究型）

医学・生物学系（医学系）

医学・生物学系（生物学系）

人文・社会科学系

異分野融合系

※各専門委員会については、拠点申請の数・内容に応じて適切な構成とする。

<p>観点別評価</p> <p>※下記の観点別評価は、右の基準に基づき評価を行う。</p>	S	特に優れている。
	A	優れている。
	B	やや劣っている。
	C	劣っている。
<p>(1) 申請施設が、研究実績、研究水準、研究環境、研究者の在籍状況等に照らし、当該申請施設の目的たる研究の分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。</p>	(1) 観点評価	
	S. A. B. C	
<p>①研究実績やその水準について、研究分野の特性に応じ、論文数、国際共著論文の数・割合、TOP10%補正論文の数・割合、国際共同研究の内容と実施件数、国際研究プロジェクトの実施状況等から、当該研究分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。</p> <p>特に、人文・社会科学分野については、以下の3点を考慮するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績 ・研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績 ・有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績 <p>②研究環境について、施設、設備、資料、データベース等の整備・利用状況や技術的・事務的な支援体制から、当該研究分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。</p> <p>③研究者の在籍状況について、例えば、国際学会の長、国際研究プロジェクトの長、国際的な賞の受賞等の経験や科学研究費補助金の採択状況から、当該研究分野において、国際的に中核的な研究施設であると認められるか。女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組が行われているか。</p> <p>④その他、海外との研究者の派遣・受入れの状況、国際協定の締結状況、海外への協力・貢献の状況、国際シンポジウム等の開催状況等から、当該研究分野における国際的に中核的な研究施設であると認められるか。研究活動における不正行為及び研究費の不正使用への対応に関する体制整備がなされているか。</p>	(特筆すべき点がある場合のみ記載願います)	
	(2) 観点評価	
<p>(2) 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等を備えており、これらが、国際的な水準に照らし、質の高いものであると認められるか。</p>	S. A. B. C	

<p>①共同利用及び共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等を保有しているか。</p> <p>②共同利用及び共同研究のために保有している施設、設備、資料、データベース等の仕様、稼働状況、利用状況等に鑑み、当該研究分野における国際的な水準に照らして、質の高いものと認められるか。</p> <p>③施設、設備、資料、データベース等が共同利用及び共同研究にどの程度利用されているか。うち海外の研究機関に在籍する研究者（以下「海外研究者」という。）にどの程度利用されているか。</p>	<p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>
<p>（3）当該申請施設の目的たる研究の分野の国際的な動向を把握し、運営に反映するために必要な体制を整備しているか。</p>	<p>（3）観点評価</p>
<p>①申請施設の実情を踏まえ、例えば、海外研究者をアドバイザーや外部評価委員、運営委員会等の委員に任命するなど、当該研究分野の国際的な動向を把握し、運営に反映するために必要な体制が整備されているか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>
<p>（4）共同利用・共同研究に参加する国内外の関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行うために必要な体制を整備しているか。</p>	<p>（4）観点評価</p>
<p>①共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援業務に従事する専任職員（教員、技術職員、事務職員等）が十分配置されているか。</p> <p>②外国人研究者のため、英語による職務遂行が可能な職員（教員、技術職員、事務職員等）が十分配置されているか。</p> <p>③関連研究者に対して、必要な情報を継続的に提供するための体制が整備されているか。</p> <p>④拠点の活動内容に応じて、関連研究者が宿泊できる宿舎が確保されているか。</p> <p>⑤支援を行うために必要な体制を整備するに当たり、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が長期にわたり得られる見込みがあるか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>
<p>（5）国内外の関連研究者に対し、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料、データベース等の状況、申請施設における研究の成果その他の共同利用・共同研究への参加に関する情報の提供を広く行っているか。</p>	<p>（5）観点評価</p>
<p>①国内外の関連研究者に対して、各種媒体を用いて、共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料、データベース等の状況、申請施設の研究成果、支援の内容等の情報の提供を広く行っているか。</p> <p>②国内の関連研究者向けに、海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等を開催しているか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>
<p>（6）共同利用・共同研究に国内外から多数の関連研究者が参加することが見込まれるか。また、国内外の多数の関連研究者から申請施</p>	<p>（6）観点評価</p>

<p>設を国際共同利用・共同研究拠点として認定するよう要請があるか。</p>	<p>S. A. B. C</p>
<p>①共同利用・共同研究の実績（共同研究者数うち海外研究者数）はどの程度か。</p> <p>②対象となる研究者コミュニティが明確であり、当該拠点がコミュニティにとって必要不可欠であり、当該研究分野の発展に寄与するものか。</p> <p>③研究者コミュニティの規模や申請施設の規模等を考慮して、国内外から多数の関連研究者の参加が見込まれるか。</p> <p>④国内外の研究者コミュニティから、国際共同利用・共同研究拠点として認定するよう強い要望があるか。</p>	<p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>
<p>（7）将来の国際的なネットワークの核となる若手研究者の育成に積極的に取り組んでいるか。</p>	<p>（7）観点評価</p>
<p>①若手研究者の自立支援や登用を進め、研究に取り組みやすい環境を整備しているか。</p> <p>②国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成に積極的に取り組んでいるか。</p> <p>③国内外の大学院生を申請施設で受入れ、共同利用・共同研究に参加させるなど大学院生の教育に積極的に関与しているか。</p> <p>④若手研究者の育成の取組に対し、必要な全学的支援（予算・人員の配分等）が長期にわたり得られる見込みがあるか。</p>	<p>S. A. B. C</p> <p>（特筆すべき点がある場合のみ記載願います）</p>

【ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点の認定審議に係る留意点】

ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点の認定審議に当たっては、ネットワーク型拠点又は連携ネットワーク型拠点全体として認定の基準に適合しているかについて確認するとともに、中核機関が設定されているかについて確認するものとする。

※審議に当たっての主な観点のうち、上記観点別評価欄に掲げた項目以外の項目については、事務局において確認する。

（参考）国際共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項（抄）

5. 審議に当たっての主な観点

- （1）申請施設が、大学の学則その他これに準ずるものに記載されているのか。
- （4）共同利用・共同研究の実施に関する重要事項であって、申請施設の長が必要と認めるものについて、当該申請施設の長の諮問に応じる機関として、次に掲げる委員で組織する運営委員会等を置き、イの委員の数が運営委員会等の委員の総数の2分の1以下であるか。
 - イ 当該申請施設を置く大学の職員
 - ロ 関連研究者
 - ハ その他当該申請施設の長が必要と認める者
- （6）共同利用・共同研究の課題等を広く国内外の関連研究者から募集し、関連研究者その他の申請施設を置く大学の職員以外の者の委員の数が委員の総数の2分の1以上である組織の議を経て採択を行っているか。

新規認定に関するヒアリング実施要領

国際共同利用・共同研究拠点の新規認定に関する要項（以下「新規認定に関する要項」という。）「4. 審議方法（2）ヒアリングによる審議」は、本実施要領により行うものとする。

1. 対象

共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点に関する作業部会（以下「作業部会」という。）における書面による審議の結果、ヒアリングの対象とされた申請施設

2. ヒアリングによる審議の観点

- （1）新規認定に関する要項「5. 審議に当たっての主な観点」を参考
- （2）書面による審議において、各委員等から出された論点等について確認
- （3）その他申請内容の確認等

3. ヒアリングの進め方等

（1）時間配分（30分）

- ①説明・・・10分
- ②質疑応答・・・15分
- ③まとめ・・・5分

（2）説明者

申請を行った大学の長又はそれに準ずる者、国際共同利用・共同研究拠点となる研究施設の長等（5名以内）

（3）説明資料

- ①新規認定申請書
- ②プレゼンテーション用資料
- ③その他関係資料（適宜）

（4）説明内容

新規認定申請書に基づき、新規認定に関する要項「5. 審議に当たっての主な観点」に定める観点に沿って、簡潔に説明すること。

なお、ヒアリングに際し、作業部会から事前に質問事項が提示された場合には、その回答を含めて説明すること。

4. ヒアリング時の注意事項

- （1）説明者は、当該ヒアリング開始時間15分前に指定する待合室に参集すること。
- （2）説明者は、簡潔に説明するよう心がけること。
- （3）説明時間及び質疑応答の時間は厳守し、説明が10分以内で終了しても、残り時間を質疑応答の時間に振り替えないものとする。
- （4）ヒアリング会場において、液晶プロジェクター、パソコン等の利用を希望する場合には、説明者は事前に事務局まで申し出ること。
- （5）ヒアリング内容の録画、録音は禁止する。

新規認定申請書に関する記入・提出要領

1. 記入要領

(1) 共通事項

- 申請書はすべて日本工業規格A4版で作成してください。
- 文字の大きさは9ポイント～12ポイント程度で作成してください。
- 誤記入があった場合は改めて作成してください（訂正印、修正液の使用はご遠慮ください）。
- 作成にあたって、文字数の超過等により、不自然な罫線のずれや改行等が生じた場合は、読みやすい形で適宜修正を施し作成してください。ただし、データを記入いただく項目や列の幅を変更するなどの修正は行わないでください。また、行の挿入等により、枠の途中でページが切れる場合は、適宜「改ページ」を行うなど、体裁を整えてください。なお、表示倍率の変更は行わないでください。
- 計算式が入力されているセル（水色セル）については、変更を加えないでください。
- 該当する事項がない場合は、「該当なし」や「－（バー）」を記入し、その旨がわかるようにしてください。該当するが、対象者等がない場合には「0」を記入してください。
- 不要な行については削除しても差し支えありませんが、調査項目自体の削除や列やセル単位の削除は行わないでください。
- 様式にあらかじめ※記号で入っている留意事項及び記入例は削除して作成してください。
- 国際共同利用・共同研究拠点の申請にあたっては、学長からの申請としてください。なお、ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点については、各機関の長の連名での申請としてください。
- 連携ネットワーク型拠点を形成する場合は、申請施設を連携施設に、大学を大学共同利用機関法人や独立行政法人等に読み替えて、ネットワーク型拠点と同様に総括票と個票を作成してください。

(2) 【単独拠点用】各項目の記入要領

- ・「申請者」欄は、学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、○○○○○拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、拠点となる組織の名称を記入してください（例：○○○研究所）。
- ・「研究分野」欄は、国際共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の審査区分表の小区分を参考に記入してください。

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要

(1) 国際共同利用・共同研究拠点の目的

○国際共同利用・共同研究拠点の目的、国際共同利用・共同研究拠点を目指す理由・志望動機等について記入してください。

(2) 国際共同利用・共同研究拠点の概要

○国際共同利用・共同研究拠点の全体計画の概要について記入してください。

(3) 目標達成による効果

○国際共同利用・共同研究拠点として実現を目指す目標、関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与（全国的な学術研究の発展への寄与）、若手研究者育成への寄与（当該分野における若手研究者育成の必要性）、拠点としての将来ビジョン等について具体的に記入してください。

(4) 国内の関連研究者への波及のための取組・活動

○国内の関連研究者向けに、海外の研究動向や国際共同研究の成果等を広げるための活動・取組等について記入してください。

(5) 申請施設が国際的な研究活動の中核であるとする根拠

○当該分野の世界的研究拠点と比較した申請施設の学術的レベル、国際的な水準に照らし質の高い研究資源の保有状況、国際的に優れた研究実績、著名な研究者の在籍状況、申請施設が国際的な研究活動の中核であることの根拠等について記入してください。

(6) 国際共同利用・共同研究拠点に対する全学的支援の状況

○拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況や学内予算の配分状況（特に若手研究者の育成の取組に対する支援状況について、将来的なコミットも含め記入してください）。

2. 申請施設の概要

○申請施設の組織について、組織図等を用いて記入してください。

○学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しの抜粋を**別途添付**してくだ

さい。

(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式1】

1. 人員

○研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、平成30年5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(併任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。

○今後、拠点化にあたり、学内措置等により、申請施設における人員の拡充等を予定している場合は、※の人員記入欄に予定の年月日及び人員の内訳を記入してください。

※ 常勤・非常勤は、学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください(常勤：法令上の任期、特定有期雇用など、非常勤：短時間雇用など)。

※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名(教授、准教授、講師、助教、助手)に含めて記入してください。

(参考)

学校基本調査一用語の解説(抜粋)

本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

学校教員統計調査規則 第3条2項(抜粋)

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長(副園長を含む。)、教頭、主幹教諭(幼保連携型認定こども園の主幹養護教諭及び主幹栄養教諭を含む。)、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭及び実習助手並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。

※ 任期制を導入していない場合は記入欄に「- (バー)」を記入してください。

※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

2. 人材の流動性

(1) 人材の流動状況

○研究教育職員(常勤)について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「(新規採用者・転入者数)」・「(内部昇任者数)」・「(退職者数)」・「(転出者数)」の内数を記入してください。

※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において内部昇任者数の助教に1を記入してください。

※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。

※ なお、「退職者数」は「当該研究所・センター等の教職員ではなくなった者」、「転出者数」は「退職者のうち、次の職が決まっている者」として整理してください。

(2) 転入元・転入先一覧

○研究教育職員（常勤）について、各職名毎に、転入者については「転入元」の、転出者については転出先の機関名（大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等）及び職名を記入してください。

※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。

(例)

教授		⇒	教授	××××…
准教授			准教授	△△△△…

3. 予算

(1) 決算額

○当該研究施設等全体の決算額及びその内数として運営費交付金の決算額を、それぞれの区分に従い記入してください。

(2) 教員1人当たりの研究費

○決算における教員1人当たりの研究費について記入してください。

※ 教員数 (a) には、各年度における〔教授～助手、常勤（併任教員含む）・非常勤の合計〕を記入してください。

※ (b)、(c) 欄の研究費は、科学技術研究調査報告（総務省統計局）と同義とします。（研究のために使用した次の項目）人件費、原材料費、有形固定資産の購入費、無形固定資産の購入費、リース料、その他の経費

※ (d) 欄の研究費は、運営費交付金等の基盤的経費のうち、実際に研究部門や研究者等に研究費として配分した額の合計とし、外部資金は除きます。

※ 外部資金は、科学研究費助成事業・その他の補助金等・受託研究・民間等との共同研究・奨学寄附金（※運営費交付金のうち研究所に付与された機能強化促進分、共同利用・共同研究拠点の強化（認定に伴う経費、プロジェクト分）は外部資金扱いとする。）とします。
 なお、科学研究費助成事業のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は含みません。

(2) 申請施設における競争的資金の採択等の状況【様式2】

1. 競争的資金等の採択状況

○当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数（上段：新規、下段：全体）、金額、直接経費の合計（上段）及び間接経費の合計（下段）を記入してください。「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金

等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。

※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。

※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。

※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒しした場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。

※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。

※ 教員数には、各年度における〔教授～助手、常勤（併任教員含む）・非常勤の合計〕を記入してください。

○「主なその他の補助金等の内訳」には、その他の補助金等のうち主なもの5件について、研究課題名等を記入してください。

2. その他の外部資金獲得状況

○「(1) 民間等との共同研究」、「(2) 受託研究」、「(3) 海外からの資金獲得状況」について、受入件数及び受入金額を記入してください。そのうち、平成27年度～平成29年度における主なもの5件について、研究課題名等を記入してください。

(3) 申請施設におけるこれまでの研究成果・取組等の状況【様式3】

1. 研究成果等の状況

(1) 主な研究実績（成果）

○過去3年間における当該研究施設等の研究者による国際的な水準に照らして質が高いと認められる主な研究成果について、3件まで厳選して記入してください。

(2) 受賞状況

○過去3年間における当該研究施設等における研究者の国際的な賞の受賞状況について、代表的なものを5件まで厳選して記入してください。

(3) 申請施設に所属する者が発表した論文の総数

○申請施設に所属する研究者により発表された学術論文（共同利用・共同研究による成果であるか否かを問わない）について、総論文数、国際共著論文数及びTOP10%補正論文数について、年別、区分毎に記入してください。

※ 年度ではなく年別で記入ください。

2. 国際的な活動状況

(1) 国際的な研究プロジェクトへの参加状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトへの参加状況について、相手国名・研究機関名、研究プロジェクト等の概要及び関係研究者名を記入してください。

○プロジェクト等の概要には、プロジェクト名、プロジェクト概要に加え、規模や参加国等についても記入してください。

(2) 国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況について記入してください。

(3) 有力な国際会議での講演・発表・報告等の実施状況

○申請施設の所属する研究者の有力な国際会議での講演、発表、報告等の実施状況について記入してください。

※ 事例について、数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

※ 「形態 (区分)」については、講演、発表、報告等の別を記入してください。

(4) 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況

○研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況について、文部科学省事業、日本学術振興会事業、当該法人による事業（運営費交付金による派遣）、その他（政府機関の事業、国際交流基金、JICA、外国政府の事業等）に区分して派遣者数を延べ人数で記入してください。

○派遣先国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ (NIS 諸国含)、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(5) 学術国際交流協定の状況

○当該研究施設等が、諸外国の研究機関との間で締結している学術国際交流協定について、締結されている協定全てを記入してください。なお、協定期間終了後自動更新されるものについては、終了予定年月欄に「〇年ごとに自動更新」と記入してください。

○学術国際交流協定に基づき研究員の受入及び派遣を行った場合は、協定ごとに受入・派遣人数を記入してください。

※ 外国語で締結された協定書については、和訳を併記してください。

※ 大学間で締結された協定は含みません。

※ 分野欄は、具体的に記入してください。(可能な範囲で、科学研究費助成事業の審査区分表における小区分を参考に記入してください。)

(6) 国際研究協力活動の状況

○国際研究協力活動の状況について、事業名称等とその概要、受入・派遣人数を記入してください。

3. 人材育成等に関する取組状況

(1) 大学院生等の受入状況

○研究指導を行うために当該研究施設等に受け入れている大学院生等について、それぞれの区分に従い、実績を記入してください。

○学生ではない研究生を含める場合は、欄外に「研究生〇名を含む」旨を記入してください。

(2) 当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数

○当該研究施設等の研究で博士号を取った大学院生数の数について、学内と学外に分けて、記入してください。

(3) 留学生の受入状況

○留学生受入総数を記入してください。

○留学生の出身国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ (NIS 諸国含)、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(4) 女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組状況

○女性研究者や外国人研究者などの人材の多様性を確保するために行っている特徴的な取組(待遇面における柔軟な人事制度の整備、職員の配置の工夫、施設・設備の整備等)について記入してください。

(5) 研究不正、不適切な会計処理等に係る倫理教育の実施状況

○研究費不正等の防止のためのコンプライアンス教育等の実施状況について記入してください。

(4) 将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成のための取組

○若手研究者の自立支援や登用を進めるための環境整備の状況や国内外の大学院生の教育に対する関与の状況等について記入してください

3. 共同利用・共同研究の状況

(1) 共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況【様式4】

(1) 施設・設備の利用状況

○共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要、スペック及び目的を記入の上、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

○数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

○世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○ (世界最高)」又は「△ (国内最高)」を記入し、「施設・設備の概要 (スペック) 及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。

- ※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。
- ※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。
- ※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指します。
- ※ 設置年月は、和暦で記入してください。
- ※ 設置時の導入経費は、当該施設・設備を当初導入した際の経費総額及び国費、その他を内数で記入してください。経費総額内に「国費」がある場合は主な財源（3件以内）を備考欄に記入してください。
 - ・国費の例：運営費交付金、施設整備費補助金、科学研究費補助金 等
 - ・その他の例：地方自治体からの支援、寄付金、自己財源（目的積立金を含む）等
- ※ 運転経費は、年間のおおよその運転経費を記入してください。また、算出方法を備考欄に記入してください。運転経費に積算できる項目としては、当該施設・設備に係る光熱水料、運転・整備に係る人件費の他に、備品代や試薬代等、各施設・設備に固有のものもあります。

(2) 資料の整備・利用・提供状況

- 共同利用・共同研究に供する資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入の上、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。
- 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
- 「価値」欄は、極めて学術的価値が高いものについて○を記入してください。また、概要欄に当該資料の概要や特徴を記入するとともに、どのような点について学術的価値が高いのか具体的に記入してください。
 - ※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。
 - ※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。
 - ※ 「年間公開可能時間」とは、当該資料のメンテナンスに係る時間等を除き、当該資料を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

(3) データベースの作成・公開状況

- 共同利用・共同研究に供するデータの名称、仕様、蓄積情報の概要、公開方法を記入の上、蓄積量及び使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。
- 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
- 世界／国内最高性能をもつデータベースの場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」又は「△（国内最高）」を記入し、「蓄積情報の概要」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」についてはデータベースへのアクセス件数を記入してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該データベースのメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該データベースを利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該データベースを利用するために、電源が投入されている時間を指します。

(2) 共同利用・共同研究の実績・成果【様式5】

1. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果

○平成27年度～平成29年度における共同利用・共同研究による国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果について、5件まで厳選して記入してください。

2. 共同利用・共同研究が発展したプロジェクト等

○平成27年度～平成29年度において、プロジェクト研究に発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクト研究の名称と財源(国の補助事業等)、期間、概要を記入してください。

3. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

○公募状況及び採択状況について、実績を記入してください。また、実施状況についても、新規分と継続分について、公募型及び公募型以外に分けて、実績を記入してください。

○また、国際共同研究について、「国際共同研究の実施内容」欄に、平成27年度～平成29年度における主なもの5件に厳選して記入してください。

4. 共同利用・共同研究への参加状況

○共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数について、区分に応じて記入してください。

※ 外国人、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

(例) 1. 一つの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた(参加した)場合：受入人数2人、延べ人数6人

2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題(課題A、課題B)に参加し、課題Aに3日間、課題Bに4日間参加(来所)した場合：受入人数2人、延べ人数7人

5. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

○共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、著者の構成により下の5つに((2)～(6))分けて、年別、区分毎に記入してください。

※ 年度ではなく年別で記入ください。

○申請施設に所属する者を執筆者に含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果であるとして発表された論文のみを記入してください。

(1) 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

(2) 申請施設に所属する者（大学院生を含む）のみの論文

・・・単著の論文数や申請施設に所属する者のみを共著者としている論文数を記入してください。

(3) 申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

・・・申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

(4) 申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文

・・・申請施設以外の国内の研究機関に所属する者の論文数を記入してください。

(5) 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

・・・国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文数を記入してください。

(6) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

・・・国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文数を記入してください。

※ 申請施設に所属する者とは、「2. 申請施設の概要」の「(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式1】 1. 人員」に記入した教職員及び指導している大学院生、ポストドク等の研究員としてください。

※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。

※ 区分については、科学技術政策研究所が実施している「科学研究のベンチマーキング2017 (<http://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/NISTEP-RM262-FullJ.pdf>)」本編9ページ(6)分野分類の図表6にある研究ポートフォリオ8分野(化学、材料科学、物理学、計算機・数学、工学、環境・地球科学、臨床医学、基礎生命科学)に人文・社会科学を追加した9区分で集計してください。なお、融合分野など完全にあてはまる分野がない場合でも一番近いと思われる分野に集計してください。

※ (3) 及び (5) については、括弧内に申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文数(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

(7) 高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載状況

○高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、出版社名、インパクトファクター、掲載論文数、掲載された論文のうち主なものを記載してください。

※ 申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付してください。

(注) インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載してください。

※ 申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付してください。

6. 人文・社会科学分野の特性を踏まえた論文以外の指標

(1) 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績（出版社名を含む）

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成 27 年～平成 29 年の実績を記入してください。

※ 年度ではなく年の実績を記入ください。

(2) 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成 27 年～平成 29 年の実績を記入してください。

※ 年度ではなく年の実績を記入ください。

(3) 有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成 27 年度～平成 29 年度の実績を記入。

(4) (1)～(3) 以外に分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。

4. 国際共同利用・共同研究拠点の体制

・運営委員会等を中心とした全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入してください。

(1) 運営委員会の状況

○運営委員会の国際共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割について記入してください。

○設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

(2) 国際的な動向を把握し、運営に反映するための体制整備の状況

○国際的な動向を把握し、運営に反映するため、例えば、海外研究者をアドバイザーや外部評価

委員、運営委員会等の委員に任命するなど、申請施設における取組等の状況について記入してください。

(3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法

- 国際共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法を記入してください。国際公募をどのように実施するのか、研究課題の公募にあたり、予め対象を指定するなど限定的な公募を行うのか、自由に課題設定を募るのかという点についても記入ください。
- 採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を**別途添付**してください。

(4) 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援体制

- 国際共同利用・共同研究拠点の事務体制について、組織図等を用いて記入してください。
- 外国人研究者のための英語による職務遂行が可能な職員の配置状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等について記入してください。

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

- 外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料及びデータ等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組み等について記入してください。国際的な情報提供・情報発信の状況（今後の予定も含む）についても記入ください。

・共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【様式6】

(1) 主に研究者を対象としたもの

- 共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施したシンポジウム等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
 - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。

(2) (1)のうち、国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

- 国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介する目的で実施したシンポジウム等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- 「主な国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシ

ンポジウム等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。

(3) 主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの

○主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。

○「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。

※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。

※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。

(4) 国際シンポジウム等への参加状況

○当該申請施設に所属する教職員以外の者が主催する国際シンポジウム、セミナー、フォーラムへの参加件数を記入してください。

○「参加した主な国際シンポジウム等」には、上記のうち、代表的なもの5件について、開催時期、国際シンポジウム等の名称、参加人数を記入してください。

5. 研究者コミュニティ等の状況【様式7】

○「1. 関連する研究者コミュニティの分野」、「2. 関連する学会等の名称」、「3. 要望書の提出のあった研究者コミュニティー一覧」について記入してください。

○「3. 要望書の提出のあった研究所コミュニティー一覧」欄に記入した要望書等については別途添付してください。

(3) 【ネットワーク型拠点用】各項目の記入要領

【総括票】

- ・「申請者」欄は、中核機関の学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、○○○○○拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、以下の例のように記入してください。

(ネットワーク型拠点総括票の例)

□□大学□□□研究所 (中核機関)

△△大学△△△研究センター

◎◎大学◎◎◎センター

(連携ネットワーク型拠点総括票の例)

□□大学□□□研究所

(連携施設)

○○機構○○○研究所

○○機構○○○研究センター

- ・「研究分野」欄は、国際共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の審査区分表の小区分を参考に記入してください。

(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要

(1) 国際共同利用・共同研究拠点の目的

- 国際共同利用・共同研究拠点の目的、国際共同利用・共同研究拠点を目指す理由、志望動機等について記入してください。

(2) 国際共同利用・共同研究拠点の概要

- 国際共同利用・共同研究拠点全体計画の概要について記入してください。

(3) 目標達成による効果

- 国際共同利用・共同研究拠点として実現を目指す目標、関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与 (全国的な学術研究の発展への寄与)、若手研究者育成への寄与 (当該分野における若手研究者育成の必要性) 拠点としての将来ビジョン等について具体的に記入してください。

(4) 国内の関連研究者への波及のための取組・活動

- 国内の関連研究者向けに、海外の研究動向や国際共同研究の成果等を広げるための活動・取組等について記入してください。

(5) ネットワーク型拠点が国際的な研究活動の中核であるとする根拠

○当該分野の世界的研究拠点と比較した申請施設の学術的レベル、国際的な水準に照らし質の高い研究資源の保有状況、国際的に優れた研究実績、著名な研究者の在籍状況、申請施設が国際的な研究活動の中核であることの根拠等について記入してください。

2. ネットワークの概要

(1) ネットワークにおけるこれまでの研究成果・取組等の状況【様式1】

1. 研究成果等の状況

(1) 主な研究実績（成果）

○過去3年間における当該研究施設等の研究者による国際的な水準に照らして質が高いと認められる主な研究成果について、3件まで厳選して記入してください。

(2) 受賞状況

○過去3年間における当該研究施設等における研究者の国際的な賞の受賞状況について、代表的なものを5件まで厳選して記入してください。

(3) ネットワーク型拠点到に所属する者が発表した論文の総数

○申請施設に所属する研究者により発表された学術論文（共同利用・共同研究による成果であるか否かを問わない）について、総論文数、国際共著論文数及び TOP10%補正論文数について、年別、区分毎に記入してください。

※ 年度ではなく年別で記入ください。

2. 国際的な活動状況

(1) 国際的な研究プロジェクトへの参加状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトへの参加状況について、相手国名・研究機関名、研究プロジェクト等の概要及び関係研究者名を記入してください。

○プロジェクト等の概要には、プロジェクト名、プロジェクト概要に加え、規模や参加国等についても記入してください。

(2) 国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況

○諸外国の研究機関等において実施されている国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況について記入してください。

(3) 有力な国際会議での講演・発表・報告等の実施状況

○申請施設の所属する研究者の有力な国際会議での講演、発表、報告等の実施状況について記入してください。

※ 事例について、数が膨大になる場合は、主なものを5件に厳選して記入してください。

※ 「形態 (区分)」については、講演、発表、報告等の別を記入してください。

(4) 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況

- 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況について、文部科学省事業、日本学術振興会事業、当該法人による事業（運営費交付金による派遣）、その他（政府機関の事業、国際交流基金、JICA、外国政府の事業等）に区分して派遣者数を延べ人数で記入してください。
- 派遣先国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ (NIS 諸国含)、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(5) 学術国際交流協定の状況

- 当該研究施設等が、諸外国の研究機関との間で締結している学術国際交流協定について、締結されている協定全てを記入してください。なお、協定期間終了後自動更新されるものについては、終了予定年月欄に「〇年ごとに自動更新」と記入してください。
- 学術国際交流協定に基づき研究員の受入及び派遣を行った場合は、協定ごとに受入・派遣人数を記入してください。
 - ※ 外国語で締結された協定書については、和訳を併記してください。
 - ※ 大学間で締結された協定は含みません。
 - ※ 分野欄は、具体的に記入してください。(可能な範囲で、科学研究費助成事業の審査区分表における小区分を参考に記入してください。)

(6) 国際研究協力活動の状況

- 国際研究協力活動の状況について、事業名称等とその概要、受入・派遣人数を記入してください。

3. 人材育成等に関する取組状況

(1) 大学院生等の受入状況

- 研究指導を行うために当該研究施設等に受け入れている大学院生等について、それぞれの区分に従い、実績を記入してください。
- 学生ではない研究生を含める場合は、欄外に「研究生〇名を含む」旨を記入してください。

(2) 当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数

- 当該研究施設等の研究で博士号を取った大学院生数の数について、学内と学外に分けて、記入してください。

(3) 留学生の受入状況

- 留学生受入総数を記入してください。
- 留学生の出身国について、①アジア、②北米、③中南米、④ヨーロッパ (NIS 諸国含)、⑤オセアニア、⑥中東、⑦アフリカの7つの地域に区分して人数を記入してください。

(4) 女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組状況

○女性研究者や外国人研究者などの人材の多様性を確保するために行っている特徴的な取組（待遇面における柔軟な人事制度の整備、職員の配置の工夫、施設・設備の整備等）について記入してください。

(5) 研究不正、不適切な会計処理等に係る倫理教育の実施状況

○研究費不正等の防止のためのコンプライアンス教育等の実施状況について記入してください。

(2) 共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況【様式2】

(1) 施設・設備の利用状況

○共同利用・共同研究に供する研究施設・設備の名称、性能、概要、スペック及び目的を記入の上、使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

○数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

○世界／国内最高性能をもつ施設・設備の場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」又は「△（国内最高）」を記入し、「施設・設備の概要（スペック）及び目的」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該設備のメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該設備を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該設備を利用するために、電源が投入されている時間を指します。

※ 「(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)」とは、法人として研究に使用しない時間のうち、民間等に貸し出す時間等を指します。

※ 設置年月は、和暦で記入してください。

※ 設置時の導入経費は、当該施設・設備を当初導入した際の経費総額及び国費、その他を内数で記入してください。経費総額内に「国費」がある場合は主な財源（3件以内）を備考欄に記入してください。

・国費の例：運営費交付金、施設整備費補助金、科学研究費補助金 等

・その他の例：地方自治体からの支援、寄付金、自己財源（目的積立金を含む）等

※ 運転経費は、年間のおおよその運転経費を記入してください。また、算出方法を備考欄に記入してください。運転経費に積算できる項目としては、当該施設・設備に係る光熱水料、運転・整備に係る人件費の他に、備品代や試薬代等、各施設・設備に固有のものもあります。

(2) 資料の整備・利用・提供状況

○共同利用・共同研究に供する資料の名称、概要、整備の状況、利用・提供方法を記入の上、

使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

○数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

○「価値」欄は、極めて学術的価値が高いものについて○を記入してください。また、概要欄に当該資料の概要や特徴を記入するとともに、どのような点について学術的価値が高いのか具体的に記入してください。

※ 「利用・提供区分」の欄には、貸出や閲覧等の手法を記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については延べ人数で算出してください。

※ 「年間公開可能時間」とは、当該資料のメンテナンスに係る時間等を除き、当該資料を利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

(3) データベースの作成・公開状況

○共同利用・共同研究に供するデータの名称、仕様、蓄積情報の概要、公開方法を記入の上、蓄積量及び使用者の所属機関に応じた年間使用人数を年度別に記入してください。また、年度別の稼働時間に係るデータも併せて記入してください。

○数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。

○世界／国内最高性能をもつデータベースの場合は、「性能」欄に「○（世界最高）」又は「△（国内最高）」を記入し、「蓄積情報の概要」欄にどの点が世界／国内最高性能であるのかを記入してください。

※ 「年間使用人数」、「共同利用者数」については、データベースへのアクセス件数を記入してください。

※ 「年間稼働可能時間」とは、当該データベースのメンテナンスに係る時間等を除き、電源投入の有無に関わらず、当該データベースを利用に供することが可能な状態にある時間を指します。

※ 「年間稼働時間」とは、利用者が当該データベースを利用するために、電源が投入されている時間を指します。

(3) 共同利用・共同研究の実績・成果【様式3】

1. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果

○平成27年度～平成29年度における共同利用・共同研究による国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果について、5件まで厳選して記入してください。

2. 共同利用・共同研究が発展したプロジェクト等

○平成27年度～平成29年度において、プロジェクト研究に発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクト研究の名称と財源(国の補助事業等)、期間、概要を記入してください。

3. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

○公募状況及び採択状況について、実績を記入してください。また、実施状況についても、新規

分と継続分について、公募型及び公募型以外に分けて、実績を記入してください。

○また、国際共同研究については、「国際共同研究の実施内容」欄に、平成27年度～平成29年度における主なもの5件に厳選して記入してください。

4. 共同利用・共同研究への参加状況

○共同利用・共同研究の受入機関数、受入人数、延べ人数について、区分に応じて記入してください。

※ 外国人、若手研究者（35歳以下）、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対する内数を記入してください。

※ 「受入人数」及び「延べ人数」の算出方法は、以下の例に基づき算出してください。

(例) 1. 一つの共同利用・共同研究課題で2人を共同研究員として3日間受け入れた

(参加した) 場合：受入人数2人、延べ人数6人

2. 同一人物が2つの共同利用・共同研究課題（課題A、課題B）に参加し、課題A

に3日間、課題Bに4日間参加（来所）した場合：受入人数2人、延べ人数7人

5. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

○共同利用・共同研究による成果として発表された学術論文について、著者の構成により下の5つに（(2)～(6)）分けて、年別、区分毎に記入してください。

※ 年度ではなく年別で記入ください。

○申請施設に所属する者を執筆者に含まない論文については、Acknowledgement（謝辞）に申請施設における共同利用・共同研究による成果であるとして発表された論文のみを記入してください。

(1) 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

(2) 申請施設に所属する者（大学院生を含む）のみの論文

・・・単著の論文数や申請施設に所属する者のみを共著者としている論文数を記入してください。

(3) 申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）の論文

・・・申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者の共著論文数について記入してください。

(4) 申請施設以外に所属する者（国外の研究機関に所属する者を除く）のみの論文

・・・申請施設以外の国内の研究機関に所属する者の論文数を記入してください。

(5) 国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

・・・国内の研究機関（申請施設を含む）に所属する者と国外の研究機関に所属する者の共著論文数を記入してください。

(6) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

・・・国外の研究機関に所属する者の単著論文または国外の研究機関に所属する者のみの共著論文数を記入してください。

- ※ 申請施設に所属する者とは、「2. 申請施設の概要」の「(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式1】 1. 人員」に記入した教職員及び指導している大学院生、ポストドク等の研究員としてください。
- ※ 学内の紀要等に発表されたものは対象外とします。
- ※ 区分については、科学技術政策研究所が実施している「科学研究のベンチマーキング2017 (<http://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/NISTEP-RM262-FullJ.pdf>)」本編9ページ(6)分野分類の図表6にある研究ポートフォリオ8分野(化学、材料科学、物理学、計算機・数学、工学、環境・地球科学、臨床医学、基礎生命科学)に人文・社会科学を追加した9区分で集計してください。なお、融合分野など完全にあてはまる分野がない場合でも一番近いと思われる分野に集計してください。
- ※ (3)及び(5)については、括弧内に申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文数(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割も記入してください。

(7) 高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載状況

- 高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合、その雑誌名、出版社名、インパクトファクター、掲載論文数、掲載された論文のうち主なものを記載してください。
- ※ 申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付してください。
- (注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記載してください。
- ※ 申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付してください。

6. 人文・社会科学分野の特性を踏まえた論文以外の指標

- (1) 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績(出版社を含む)
- 申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入してください。
- ※ 年度ではなく年の実績を記入ください。
- (2) 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績
- 申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入してください。

※ 年度ではなく年の実績を記入ください。

(3) **有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績**

○申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し（複数でも可）、平成 27 年度～平成 29 年度の実績を記入してください。

(4) (1)～(3) 以外に分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。

(4) 将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成のための取組

○若手研究者の自立支援や登用を進めるための環境整備の状況や国内外の大学院生の教育に対する関与の状況等について記入してください

3. 国際共同利用・共同研究拠点の体制

○運営委員会等を中心とした全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入してください。

○ネットワークの構成図と役割分担等についても上記に合わせて記入してください。

(1) **運営委員会の状況**

○運営委員会の国際共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割について記入してください。

○設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

(2) **国際的な動向を把握し、運営に反映するための体制整備の状況**

○国際的な動向を把握し、運営に反映するため、例えば、海外研究者をアドバイザーや外部評価委員、運営委員会等の委員に任命するなど、申請施設における取組等の状況について記入してください。

(3) **共同利用・共同研究の課題の公募方法**

○国際共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法を記入してください。国際公募をどのように実施するのか、研究課題の公募にあたり、予め対象を指定するなど限定的な公募を行うのか、自由に課題設定を募るのかという点についても記入ください。

○採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付してください。

(4) **共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援体制**

○国際共同利用・共同研究拠点の事務体制について、組織図等を用いて記入してください。

○外国人研究者のための英語による職務遂行が可能な職員の配置状況、宿泊施設の確保状況、申請施設の利用に関する技術的支援の状況等について記入してください。

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

○外部の研究者等に対する共同利用・共同研究への参加の方法、利用可能な施設、設備、資料及びデータ等の状況等の情報の提供方法や、共同利用・共同研究による研究成果の対外的な情報発信の仕組み等について記入してください。国際的な情報提供・情報発信の状況（今後の予定も含む）についても記入ください。

・共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【様式4】

(1) 主に研究者を対象としたもの

- 共同利用・共同研究の活性化を図る目的で実施したシンポジウム等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- 「主なシンポジウム、研究会等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。
 - ※ 対象が国内研究者向けの場合は「国内」、国際的な研究会等は「国際」、一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください。）。

(2) (1)のうち、国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

- 国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介する目的で実施したシンポジウム等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- 「主な国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、シンポジウム等毎に開催期間、形態（区分）、対象、研究会等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の別を記入してください。

(3) 主に研究者以外の者（社会人・学生等）を対象としたもの

- 主として一般市民、地域、学生を参加者の主たる対象として実施したシンポジウムや公開講演会等の実施件数及び参加人数を年度別に記入してください。
- 「主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況」については、上記のうち代表的なものについて、イベント毎に開催期間、形態（区分）、対象、公開講座等名称、概要、参加人数を記入してください。
 - ※ 数が膨大になる場合は、主なもの5件に厳選して記入してください。
 - ※ 「形態（区分）」については、公開講座、シンポジウム等の別を記入してください。

※ 「対象」欄について、学生向けの講演会等の場合は「学生」、地域住民向けのセミナー等は「地域」、広く一般の方向けの場合は「一般」と記入してください（対象が重複する場合は、全て記入してください）。

(4) 国際シンポジウム等への参加状況

○当該申請施設に所属する教職員以外の者が主催する国際シンポジウム、セミナー、フォーラムへの参加件数を記入してください。

○「参加した主な国際シンポジウム等」には、上記のうち、代表的なもの5件について、開催時期、国際シンポジウム等の名称、参加人数を記入してください。

5. 研究者コミュニティ等の状況【様式5】

○「関連する研究者コミュニティの分野」、「関連する学会等の名称」、「要望の提出のあった研究者コミュニティ一覧」について記入してください。

○「3. 要望の提出のあった研究所コミュニティ一覧」欄に記入した要望書等は別途添付してください。

【個票】

- ・「申請者」欄は、各研究施設の大学の学長の氏名を記入してください。
- ・「拠点の名称」欄は、〇〇〇〇〇拠点と記入してください。
- ・「申請施設の名称」欄は、拠点となる研究施設又は連携施設の名称を記入してください。
(例：〇〇〇研究所) ※中核機関についてはその旨(中核機関)と追記してください。
- ・「研究分野」欄は、国際共同利用・共同研究拠点の研究分野を記入してください。なお、科学研究費助成事業の審査区分表の小区分を参考に記入してください。
(https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html)

1. 国際共同利用・共同研究拠点における申請施設の役割・必要性

- ネットワーク型拠点の中での申請施設の役割、ネットワーク型拠点に申請施設が加わることによる効果や必要性等について記入してください。

2. 国際共同利用・共同研究拠点の運営に対する全学的支援

- 拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況や学内予算の配分状況(特に若手研究者の育成の取組に対する支援状況について(将来的なコミットメントも含め)記入してください。

3. 申請施設の概要

- 申請施設の組織について、組織図等を用いて記入してください。
- 学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しの抜粋を**別途添付**してください。

(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式6】

1. 人員

- 研究施設の教員及び技術職員、事務職員の人数について、平成30年5月1日現在の「常勤」及び「非常勤」の「現員数」及びその内数として「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」を記入してください。「(併任教員数)」については外数を記入してください。また、「(任期付教員数)」と、その内数としての「(女性数)」、「(外国人数)」、「(若手数(35歳以下))」も併せて記入してください。
- 今後、拠点化にあたり、学内措置等により、申請施設における人員の拡充等を予定している場合は、※の人員記入欄に予定の年月日及び人員の内訳を記入してください。
 - ※ 常勤・非常勤は、学校基本調査における職員の本務者・兼務者と同義としてください(常勤：法令上の任期、特定有期雇用など、非常勤：短時間雇用など)。
 - ※ 大学で個別に設けた職種がある場合は、その人数を、それに相当する職名(教授、准教授、講師、助教、助手)に含めて記入してください。

(参考)

学校基本調査－用語の解説(抜粋)

本務者…当該学校の専任の教職員。原則として辞令で判断されるが、辞令等がない場合は、

待遇や勤務の実態で判断。

兼務者…本務者以外の者。

学校教員統計調査規則 第3条2項（抜粋）

「教員」とは、学校の長、副学長、学部長、教授、准教授、助教、助手、講師、副校長（副園長を含む。）、教頭、主幹教諭（幼保連携型認定こども園の主幹養護教諭及び主幹栄養教諭を含む。）、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭及び実習助手並びに専修学校及び各種学校の教員をいう。

※ 任期制を導入しているが、該当者がいない場合は「0」と記入してください。

※ 任期制を導入していない場合は記入欄に「-（バー）」を記入してください。

※ 「併任教員数」には、学内の他部局に所属する常勤職員のうち、当該研究所等に併任の発令がなされている教職員数を記入してください。

2. 人材の流動性

（1）人材の流動状況

○研究教育職員（常勤）について、各年度における「転入等」・「転出等」の「総数」及び「（新規採用者・転入者数）」・「（内部昇任者数）」・「（退職者数）」・「（転出者数）」の内数を記入してください。

※ 例えば、助教から准教授に昇任した場合、転入等の内訳において内部昇任者数の准教授に1、転出等の内訳において内部昇任者数の助教に1を記入してください。

※ 新規採用者・転入者数には、内部昇任者以外の者の数を記入してください。

※ なお、「退職者数」は「当該研究所・センター等の教職員ではなくなった者」、「転出者数」は「退職者のうち、次の職が決まっている者」として整理してください。

（2）転入元・転入先一覧

○研究教育職員（常勤）について、各職名毎に、転入者については「転入元」の、転出者については転出先の機関名（大学・大学共同利用機関・独立行政法人・民間等）及び職名を記入してください。

※ 行が不足する場合は、例えば以下のように行を増やしてください。

(例)

教授		➡	教授	××××…
准教授			准教授	△△△△…

3. 予算

（1）決算額

○当該研究施設等全体の決算額及びその内数として運営費交付金の決算額を、それぞれの区分に従い記入してください。

(2) 教員1人当たりの研究費

○決算における教員1人当たりの研究費について記入してください。

※ 教員数(a)には、各年度における〔教授～助手、常勤(併任教員含む)・非常勤の合計〕を記入してください。

※ (b)、(c)欄の研究費は、科学技術研究調査報告(総務省統計局)と同義とします。(研究のために使用した次の項目)人件費、原材料費、有形固定資産の購入費、無形固定資産の購入費、リース料、その他の経費

※ (d)欄の研究費は、運営費交付金等の基盤的経費のうち、実際に研究部門や研究者等に研究費として配分した額の合計とし、外部資金は除きます。

※ 外部資金は、科学研究費助成事業・その他の補助金等・受託研究・民間等との共同研究・奨学寄附金(※運営費交付金のうち研究所に付与された機能強化促進分、共同利用・共同研究拠点の強化(認定に伴う経費、プロジェクト分)は外部資金扱いとする。)とします。なお、科学研究費助成事業のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は含みません。

(2) 申請施設における競争的資金の採択等の状況【様式7】

1. 競争的資金等の採択状況

○当該研究施設の教員が研究代表者となっている「科学研究費」について、研究種目毎に年度別の応募件数及び採択件数(上段:新規、下段:全体)、金額、直接経費の合計(上段)及び間接経費の合計(下段)を記入してください。「その他の補助金等」には、科学研究費以外の補助金等について、「科学研究費を除く文部科学省の補助金等」、「文部科学省以外の府省庁の補助金等」、「地方公共団体・民間助成団体等の補助金等」にわけて記入してください。

※ 直接経費及び間接経費は新規採択課題と継続課題の合計額となります。

※ 科学研究費のうち、特別研究員奨励費及び奨励研究は除きます。

※ 基金種目については、該当年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 「調整金」制度を利用して研究費を次年度使用あるいは前倒しした場合も、当該年度の当初計画に対する配分額を計上してください。

※ 厚生労働科学研究費補助金はその他の補助金等に記入してください。

※ 文部科学省の所管する独立行政法人等からの補助金等については科学研究費を除く文部科学省の補助金等に記入してください。

※ 教員数には、各年度における〔教授～助手、常勤(併任教員含む)・非常勤の合計〕を記入してください。

○「主なその他の補助金等の内訳」には、その他の補助金等のうち主なもの5件について、研究課題名等を記入してください。

2. その他の外部資金獲得状況

○「(1)民間等との共同研究」、「(2)受託研究」、「(3)海外からの資金獲得状況」について、受入件数及び受入金額を記入してください。そのうち、平成27年度～平成29年度における主なもの5件について、研究課題名等を記入してください。

2. 提出要領

(1) 受付期間

平成 30 年 6 月 18 日 (月) ~ 6 月 29 日 (金) 17:00【必着】

※ 平成 30 年 6 月 15 日 (金) までの期間に可能な限り、事前相談を行ってください。

(2) 提出先

〒100-8959 千代田区霞が関 3-2-2 (東館 17F)

文部科学省研究振興局学術機関課 専門職付

※ 郵送する際、封筒に「国際共同利用・共同研究拠点の新規認定申請書在中」と朱書きしてください。

(3) 提出方法

申請書を提出する際は、単独拠点は、「新規認定申請書 (【様式 1】 ~ 【様式 6】 含む)」、ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点は、「新規認定申請書 (総括票) (【様式 1】 ~ 【様式 5】 含む)」及び「新規認定申請書 (個票) (【様式 6】・【様式 7】 含む)」に必要事項を記載の上、学長名の公文書 (別添の参考様式を活用ください。) にて提出してください。

(4) 提出部数等

1. 提出書類等及び部数

- ・学長名の公文書：1 部
- ・新規認定申請書等 (詳細は 2. 書類のまとめ方参照)：10 部
- ・新規認定申請書等のデータ※の入った CD-R(W)：1 枚

※ データは、以下の手順で作成願います。

○単独拠点については、①新規認定申請書 (【様式 1】 ~ 【様式 6】 含む)、②大学等の学則等 (申請施設を記載している規則) (規則名、改正履歴、目次及び申請施設が記載されている条文の抜粋としてください。)、③運営委員会等の設置規則 (案) 及び委員名簿 (案)、④研究者コミュニティからの要望書をそれぞれ別ファイルで保存するとともに、全体をまとめた PDF ファイルに頁数を付したものを作成し保存してください。

○ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点については、①新規認定申請書 (総括票) (【様式 1】 ~ 【様式 5】 含む)、②新規認定申請書 (個票) (【様式 6】・【様式 7】 含む)、③運営委員会等の設置規則 (案) 及び委員名簿 (案)、④研究者コミュニティからの要望書、⑤大学等の学則等 (申請施設を記載している規則) (規則名、改正履歴、目次及び申請施設が記載されている条文の抜粋としてください。) をそれぞれ別ファイルで保存 (その際、申請施設毎のフォルダを設け保存) するとともに、全体をまとめた PDF ファイルに頁数を付したものを作成し保存してください。

※ 調書の自由記述欄に文章以外の図や写真、グラフ等を記載いただくことは可能ですが、提

出を求めている運営委員会等の設置規則、運営委員会等の議事録等の関係書類以外の参考資料については添付しないでください。

2. 書類のまとめ方

- 提出書類は全体をまとめて頁数を付したもので、全て両面印刷(カラー可)にしてください。
- 単独拠点については、以下の順番で全体をまとめ、左上1箇所をステープラーで留めてください。

- ①新規認定申請書(【様式1】～【様式6】含む)
- ②大学等の学則等(申請施設を記載している規則)
- ③運営委員会等の設置規則(案)及び委員名簿(案)
- ④研究者コミュニティからの要望書

※②は規則名、改正履歴、目次及び申請施設が記載されている条文の抜粋としてください。

- ネットワーク型拠点及び連携ネットワーク型拠点については、中核機関が新規認定申請書(総括票)を作成し、中核機関を含めた各研究施設がそれぞれ新規認定申請書(個票)を作成し、中核機関がとりまとめの上、以下の順番で全体をまとめ、左上1箇所をステープラーで留めてください。

- ①新規認定申請書(総括票)(【様式1】～【様式5】含む)
- ②運営委員会等の設置規則(案)及び委員名簿(案)
- ③研究者コミュニティからの要望書
- ④新規認定申請書(個票)(【様式6】・【様式7】含む)
- ⑤大学等の学則等(申請施設を記載している規則)

※④、⑤を研究施設毎にまとめてください(例:A研究所④⑤、B研究所④⑤、C・・・)。

※⑤は規則名、改正履歴、目次及び申請施設が記載されている条文の抜粋としてください。

(5) その他

- 申請書の記入・提出にあたって不明な点がある場合は、下記担当者まで問合せください。
- 問合せの窓口は事務局に一本化してください。
- 内容に関する問合せは原則メールにより行い、メールを送った際は、電話にてその旨を一報ください。
- メールの件名は、「XX【〇〇大学】新規認定に関する問合せ」としてください。
 - ※ 「XX」には2桁の法人番号を記入してください。

【担当】

文部科学省研究振興局学術機関課

専門職付 萩原、松本

〒100-8959 千代田区霞が関3-2-2 [東館17F]

TEL: 03-6734-4296 (直通)

E-mail: gakkikan@mext.go.jp

(参考様式)

文 書 番 号
平成 年 月 日

文部科学大臣 殿

大学名

学長名

印

国際共同利用・共同研究拠点の新規認定の申請について

平成 年 月 日付け 文科振第 号で通知のあった標記について、
下記のとおり申請しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

国際共同利用・共同研究拠点の名称	申請施設
○ ○ ○ 拠点	※ 単 独 拠 点 の 記 載 例 ○ ○ ○ 研 究 所
○ ○ ○ 拠点	※ ネットワーク型拠点の記載例 □ □ 大学 □ □ □ 研究所 (中核機関) △ △ 大学 △ △ △ 研究センター ◎ ◎ 大学 ◎ ◎ ◎ センター
○ ○ ○ 拠点	※ 連携ネットワーク型拠点の記載例 □ □ 大学 □ □ □ 研究所 (連 携 施 設) ○ ○ 機 構 ○ ○ ○ 研 究 所 ○ ○ 機 構 ○ ○ ○ 研 究 セ ン タ ー

以上

**国際共同利用・共同研究拠点
新規認定申請書
【〇〇大学〇〇研究所】**

目次

1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要
2. 申請施設の概要
3. 共同利用・共同研究の状況
4. 国際共同利用・共同研究拠点の体制
5. 研究者コミュニティ等の状況
【様式1】申請施設における人員・予算等の状況
【様式2】申請施設における競争的資金の採択等の状況
【様式3】申請施設におけるこれまでの研究成果・取組等の状況
【様式4】共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況
【様式5】共同利用・共同研究の実績・成果
【様式6】共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況
【様式7】研究者コミュニティ等の状況

新規認定申請書【単独拠点用】

大 学 名			
申 請 者 (学 長 名)			
拠 点 の 名 称			
申 請 施 設 の 名 称			
所 在 地		設置年月	昭和（平成） 年 月
研 究 分 野			
申 請 施 設 の 代 表 者	フリガナ		生年月日
	氏 名		昭和 年 月 日（ 歳）
	所属部署		役 職 名
1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要			
(1) 国際共同利用・共同研究拠点の目的 ※国際共同利用・共同研究拠点の目的 ※国際共同利用・共同研究拠点を旨指す理由 等			

(2) 国際共同利用・共同研究拠点の概要

※国際共同利用・共同研究拠点の全体計画の概要

(3) 目標達成による効果

※国際共同利用・共同研究拠点として実現を目指す目標

※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与（全国的な学術研究の発展への寄与）

※若手研究者育成への寄与（当該分野における若手研究者育成の必要性） 等

(4) 国内の関連研究者への波及のための取組・活動

- (5) 申請施設が国際的な研究活動の中核であるとする根拠
※当該分野の世界的研究拠点と比較した申請施設の学術的レベル
※国際的な水準に照らし質の高い研究資源の保有状況
※国際的に優れた研究実績、著名な研究者の在籍状況 等

- (6) 国際共同利用・共同研究拠点に対する全学的支援の状況
※拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況
※若手研究者の育成の取組に対する支援状況（予算・人員の配分等）
※学内予算の配分状況 等

2. 申請施設の概要

- ※申請施設の組織
※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付

組織（組織図等）

(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式1】
(2) 申請施設における競争的資金の採択等の状況【様式2】
(3) 申請施設におけるこれまでの研究成果・取組等の状況【様式3】
(4) 将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成のための取組 ※若手研究者の自立支援や登用を進めるための環境整備の状況 ※国内外の大学院生の教育に対する関与 等
3. 共同利用・共同研究の状況
(1) 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等の状況【様式4】
(2) 共同利用・共同研究の実績・成果【様式5】
4. 国際共同利用・共同研究拠点の体制
※運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）
(1) 運営委員会の状況 ※運営委員会の国際共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割 ※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(2) 国際的な動向を把握し、運営に反映するための体制整備の状況

(3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法

- ※国際共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法
- ※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(4) 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援体制

- ※国際共同利用・共同研究拠点の事務体制（組織図等を記入）
- ※外国人研究者のための英語による職務遂行が可能な職員の配置状況 等

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

- ※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法
- ※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み 等
- ※共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【様式6】

--

5. 研究者コミュニティ等の状況【様式7】

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏名		役職名	
	所在地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			

2. 人材の流動性

(1) 人材の流動状況

区分	平成28年度						平成29年度						平成30年度					
	転入等			転出等			転入等			転出等			転入等			転出等		
	総数	(新規採用者・転入者数)		総数	(退職者数)		総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)		総数	(新規採用者・転入者数)		総数	(退職者数)	
		(内部昇任者数)			(転出者数)	(内部昇任者数)			(転出者数)		(内部昇任者数)			(転出者数)	(内部昇任者数)			
教授	0		0			0			0			0			0			0
准教授	0		0			0			0			0			0			0
講師	0		0			0			0			0			0			0
助教	0		0			0			0			0			0			0
助手	0		0			0			0			0			0			0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成28年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成29年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

平成30年度					
職名	転入元機関名	転入元職名	職名	転出先機関名	転出先職名
教授			教授		
准教授			准教授		
講師			講師		
助教			助教		
助手			助手		

3. 予算

(1) 決算額

[単位: 百万円]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	決算額		決算額		決算額		決算額	
		うち、国立 大学法人運 営費交付金		うち、国立 大学法人運 営費交付金		うち、国立 大学法人運 営費交付金		うち、国立 大学法人運 営費交付金
支出合計								
うち、人件費								
うち、運営委員会経費(a)								
うち、共同研究費(b)								
うち、共同研究旅費(c)								
うち、その他								
計(a+b+c)	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 教員1人当たりの研究費

[単位: 百万円]

区分	教員数 (a)	研究費 総額 (外部資金 を含む) (b)	研究費 総額 (外部資金 を除く) (c)	各研究部 門(研究 者)等に研 究費として 配分した 額 (d)	教員1人 当たりの 研究費 (外部資金 を含む) (b)/(a)	教員1人 当たりの 研究費 (外部資金 を除く) (c)/(a)	教員1人当 たりの研究費(各 研究部門(研究 者)等に研 究費として配 分した額) (d)/(a)
平成27年度							
平成28年度							
平成29年度							
平均							

※(c)-(d)の経費分の額(所長裁量経費等機動的な研究費配分を可能とする制度・取組)の配分状況

年度	事項名	配分方法 (決定体制を含む)	配分対象(配分対象 者、事業者名等)	経費等 (百万円)	捻出財源
(例) 平成 29年度	所長裁量経費	研究所に属する個々の研究者	研究所に属する個々の研究者	30	運営費交付金 (基盤的経費) の一部

申請施設における競争的資金の採択等の状況

1. 競争的資金等の採択状況

区分	平成27年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成27年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	: #DIV/0! 件	: #DIV/0! 人
科学研究費+その他の補助金等	: #DIV/0! 件	: #DIV/0! 人

[単位:件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳(平成27年度)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

区分	平成28年度					
	件数		採択率	金額(千円)		
	区分	応募 件		採択 件	合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成28年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	人
科学研究費+その他の補助金等	:	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

[単位:件、百万円]

主なその他の補助金等の内訳(平成28年度)				
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

区分	平成29年度					
	件数			採択率	金額(千円)	
	区分	応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体	-	-	- #DIV/0!	0	
挑戦的研究(開拓)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的研究(萌芽)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

なお、科学研究費助成事業の挑戦的萌芽研究の新規採択は、平成28年度までのため、継続課題の数値を記入。

○平成29年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費 :	#DIV/0!	件	#DIV/0!	人
科学研究費+その他の補助金等 :	#DIV/0!	件	#DIV/0!	百万円

主なその他の補助金等の内訳(平成29年度)				[単位:件、百万円]
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

区分	平均					
	件数			採択率	金額(千円)	
	区分	応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
新学術領域研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基盤研究(S)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基盤研究(A)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基盤研究(B)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基盤研究(C)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
挑戦的萌芽研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
挑戦的研究(開拓)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
挑戦的研究(萌芽)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
若手研究(A)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
若手研究(B)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
研究活動スタート支援	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
研究成果公開促進費	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
特別研究促進費	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
国際共同研究加速基金	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
小計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
小計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

2. その他の外部資金獲得状況

(1) 民間等との共同研究

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位：千円〕

No.	研究課題名	相手方機関名	受入額	期間
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	株式会社〇〇	200	H28～H29
2				
3				
4				
5				

(2) 受託研究

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位：千円〕

No.	研究課題名(制度名)	相手方機関名	受入額	期間
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	(独)〇〇研究機構	120	H28～H31
2				
3				
4				
5				

(3) 海外からの資金獲得状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位：千円〕

No.	研究課題名(制度名)	相手方機関名	受入額	機関
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	〇〇機関(国名：〇〇)	300	H29～H30
2				
3				
4				
5				

申請施設におけるこれまでの研究成果・取組等の状況

1. 研究成果等の状況

(1) 主な研究実績(成果)

○過去3年間に於ける国際的な水準に照らして質が高いと認められる主な研究成果(3件まで)

No.	年度	研究成果の概要	学術的意義又は社会・経済・文化的意義	関係研究者名
1				
2				
3				

(2) 受賞状況

○過去3年間に於ける国際的な賞の受賞状況(5件まで)

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となった研究課題名等

(3) 申請施設に所属する者が発表した論文の総数
(共同利用・共同研究による成果であるか否かを問わない)

区分	平成27年					平成28年				
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合
化学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
物理学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
工学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
うち国際学術誌			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!

区分	平成29年					平均	
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

○分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。

2. 国際的な活動状況

(1) 国際的な研究プロジェクトへの参加状況

総数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
年度	参加期間	相手国名	研究機関名	研究プロジェクト等の概要・成果	関係研究者名
平成27年度					
平成28年度					
平成29年度					

(2) 国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況

代表研究者名	研究プロジェクト等の概要・成果	実施期間	参加者(国の規模)

(3) 有力な国際会議等での講演・発表・報告等の実施状況

総数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	
開催期間	形態(区分)	国際会議等の名称	概要		参加者(国)の規模

(4) 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況
合計	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
事業区分	文部科学省事業							
	日本学術振興会事業							
	当該法人による事業							
	その他の事業							
相手国	①アジア							
	②北米							
	③中南米							
	④ヨーロッパ							
	⑤オセアニア							
	⑥中東							
	⑦アフリカ							

(5) 学術国際交流協定の状況

総数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	[単位:人]		
年度	締結年月	終了予定年月	相手国	機関名	協定名	分野	受入人数	派遣人数
平成27年度								
	合計						0	0
	平成28年度							
合計						0	0	
平成29年度	(例) (平成) 29年 10月	(平成) 29年 12月	〇〇国	□□大学△ △研究所	〇〇分野における学術国際 交流協定	〇〇分野	6	3
	合計						6	3
平均						2	1	

(6) 国際研究協力活動の状況

[単位:人]

年度	事業名	概要	受入人数	派遣人数
平成27年度				
	合計		0	0
	平成28年度			
合計		0	0	
平成29年度				
	合計		0	0

3. 人材育成等に関する取組状況

(1) 大学院生等の受入状況

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	うち外国人		うち外国人		うち外国人		うち外国人	
博士後期課程								
うち社会人DC								
修士・博士前期課程								
うち社会人MC								
学部生								
合計	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	(0.0)

(2) 当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数								

(3) 留学生の受入状況

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
①アジア				
②北米				
③中南米				
④ヨーロッパ				
⑤オセアニア				
⑥中東				
⑦アフリカ				
合計	0	0	0	0

(4) 女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組状況

(5) 研究不正、不適切な会計処理等に係る倫理教育の実施状況

共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況

(1) 施設・設備の利用状況

No.	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要(スペック)及び目的								
			稼働状況		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均
使用者の所属機関			年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		
			共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		共同利用者数		
1	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!		
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!		
	独立行政法人等の公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	民間の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	海外の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!		
	計			0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	稼働率(b/a)			#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	
	年間稼働可能時間(a)									#DIV/0!	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)			0		0		0		0.0	
	共同利用に供した時間(c)									#DIV/0!	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)									#DIV/0!	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)									#DIV/0!		

※○又は△を記入した施設・設備については、設置年月日、設置時の導入経費及び年間の運転経費を以下に記入。

No.	研究施設・設備名	A	設置年月日		備考	
		B	設置時の導入経費(千円)			
		C	運転経費(千円/年)			
1		A			※国費がある場合は主な財源(3件以内)を記入。 (例)運営費交付金、施設整備費補助金、科学研究費補助金	
		B	国費	0		
			その他	0		
		C	平成27年度	0		
			平成28年度	0		
			平成29年度	0		

※運転経費については、平成27年度、平成28年度、平成29年度のそれぞれについて記入。

(2)資料の整備・利用・提供状況

No.	資料名	価値	資料の概要		整備の状況、利用・提供方法					
					平成27年度		平成28年度		平成29年度	
1	保有数／利用・提供状況								平均	
	保有数								#DIV/0!	
	利用・提供区分									
	利用者の所属機関	年間使用人数	共同利用者数	年間使用人数	共同利用者数	年間使用人数	共同利用者数	年間使用人数	共同利用者数	
	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!	
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!	
	独立行政法人等の公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	民間の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	外国の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!	
	計	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均
	公開率(b/a)	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	
	年間公開可能時間(a)									#DIV/0!
	年間公開時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0.0	
	共同利用に供した時間(c)									#DIV/0!
共同利用以外の研究に供した時間(d)									#DIV/0!	
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)									#DIV/0!	

(3) データベースの整備・公開状況

No.	データベース名	性能	仕様	蓄積情報の概要				公開方法		
1										
	蓄積数／利用状況			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均			
	蓄積量						#DIV/0!			
	利用者の所属機関			年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数		年間使用人数
				共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数	共同利用者数			
	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!	
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!	
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!	
	独立行政法人等の公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	民間の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	外国の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!	
	計			0	0	0	0	0	0	0.0
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均			
	稼働率(b/a)			#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
	年間稼動可能時間(a)						#DIV/0!			
	年間稼動時間(b)=(c)+(d)+(e)			0	0	0	0.0			
	共同利用に供した時間(c)						#DIV/0!			
	共同利用以外の研究に供した時間(d)						#DIV/0!			
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)						#DIV/0!			

共同利用・共同研究の実績・成果

1. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果

1	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
2	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
3	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
4	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
5	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名

※共同利用・共同研究による国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果について5件まで厳選して記入。

2. 共同利用・共同研究が発展したプロジェクト等

プロジェクト名	主な財源	プロジェクト期間	プロジェクトの概要

※プロジェクト等が発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクトの名称と財源(国の補助事業等)、期間、概要を記入。

3. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	
公募状況	公募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際公募件数	件	件	件	#DIV/0! 件	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0.0 件

○国際共同研究の実施内容

No.	参加期間	相手国名	研究機関名	国際共同研究の概要	関係研究者名
1					
2					
3					
4					
5					

4. 共同利用・共同研究への参加状況

区分	平成27年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等の 公的研究機関										
民間の研究機関										
海外の研究機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平成28年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等の 公的研究機関										
民間の研究機関										
海外の研究機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平成29年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等の 公的研究機関										
民間の研究機関										
海外の研究機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平均								
	機関数	受入人数			延べ人数				
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
独立行政法人等の 公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
民間の研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
海外の研究機関	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

5. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

(1) 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

区分	平成27年					平成28年				
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合
化学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
材料科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
物理学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
計算機&数学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
工学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
環境&地球科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
臨床医学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
基礎生命科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
人文・社会科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
うち国際学術誌	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!

区分	平成29年					平均	
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
材料科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
物理学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
計算機&数学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
工学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
環境&地球科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
臨床医学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
基礎生命科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
人文・社会科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0

(2) 申請施設に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

(3) 申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※右側の()内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--	--

(4) 申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞) がある論文のみを記入。

(5) 国内の研究機関(申請施設を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設に所属する者を含まない論文については、申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞)がある論文のみを記入。

※右側の()内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--	--

(6) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文社会系			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞)がある論文のみを記入。

(7)高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載状況

雑誌名	出版社名	インパクト ファクター 値	掲載論 文数	主なもの		
				掲載年月日	論文名	発表者名

※申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記入。

インパクトファクター以外の指標とその理由						
雑誌等名	出版社等名	掲載論 文数	主なもの			
			掲載年月日	論文名	発表者名	

※申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

6. 人文・社会科学分野の特性を踏まえた論文以外の指標

- (1) 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績(出版社を含む)

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入。
※年度ではなく、年別の数を記入。

- (2) 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入。
※年度ではなく、年別の数を記入。

- (3) 有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年度～平成29年度の実績を記入。

- (4) (1)～(3)以外に分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記入してください。

--

共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況

(1) 主に研究者を対象としたもの

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0 (0)	0 (0)
28							0 (0)	0 (0)
29							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数

○参加人数の算定方法

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入。
 ※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入。

(2) (1)のうち、国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0 (0)	0 (0)
28							0 (0)	0 (0)
29							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	#DIV/0! #DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○主な国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

開催期間	形態(区分)	研究会等名称	概要	参加人数

○参加人数の算定方法

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入。
 ※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入。

(3)主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0	0
28							0	0
29							0	0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

(4)国際シンポジウム等への参加状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
参加件数				#DIV/0!

○参加した主な国際シンポジウム等

No.	開催時期	国際シンポジウム等名称	参加人数
1			
2			
3			
4			
5			

国際共同利用・共同研究拠点 新規認定申請書 ネットワーク構成機関

〇〇大学〇〇〇〇研究所（中核機関）	
〇〇大学〇〇〇〇研究所	〇〇大学〇〇〇〇研究所
〇〇大学〇〇〇〇研究所	〇〇大学〇〇〇〇研究所

目次

【総括票】

- 1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要
- 2. ネットワークの概要
- 3. 国際共同利用・共同研究拠点の体制
- 4. 研究者コミュニティ等の状況
- 【様式1】 ネットワークにおけるこれまでの研究成果・取組等の状況
- 【様式2】 共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況
- 【様式3】 共同利用・共同研究の実績・成果
- 【様式4】 共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況
- 【様式5】 研究者コミュニティ等の状況

【個票（研究施設毎）】

- 1. 国際共同利用・共同研究拠点における申請施設の役割・必要性
- 2. 国際共同利用・共同研究拠点の運営に対する全学的支援
- 3. 申請施設の概要
- 【様式6】 申請施設における人員・予算等の状況
- 【様式7】 申請施設における競争的資金の採択等の状況

新規認定申請書

【ネットワーク型拠点・連携ネットワーク型拠点用】

【総括票】

大学（中核機関）名			
申請者 （学長名）			
拠点の名称			
申請施設の名称			
所在地		設置年月	昭和（平成） 年 月
研究分野			
申請施設（中核機関） の代表者	フリガナ 氏名	生年月日	昭和 年 月 日（歳）
	所属部署	役職名	
1. 国際共同利用・共同研究拠点の目的・概要			
(1) 国際共同利用・共同研究拠点の目的 ※国際共同利用・共同研究拠点の目的 ※国際共同利用・共同研究拠点を目指す理由 ※ネットワーク型拠点となる意義・理由 等			

(2) 国際共同利用・共同研究拠点の概要

※国際共同利用・共同研究拠点の全体計画の概要

(3) 目標達成による効果

※国際共同利用・共同研究拠点として実現を目指す目標

※関連研究分野の発展や新規研究分野の創出への寄与（全国的な学術研究の発展への寄与）

※若手研究者育成への寄与（当該分野における若手研究者育成の必要性）

※ネットワーク型拠点となることによる効果

(4) 国内の関連研究者への波及のための取組・活動

- (5) ネットワーク型拠点が国際的な研究活動の中核であるとする根拠
※当該分野の世界的研究拠点と比較したネットワーク申請施設の学術的レベル
※国際的な水準に照らし質の高い研究資源の保有状況
※国際的に優れた研究実績、著名な研究者の在籍状況 等

2. ネットワークの概要

- (1) ネットワークにおけるこれまでの研究成果・取組等の状況【様式1】
- (2) 共同利用・共同研究に必要な施設、設備、資料、データベース等の状況【様式2】
- (3) 共同利用・共同研究の実績・成果【様式3】
- (4) 将来の国際的な研究ネットワークの核となる若手研究者の育成のための取組
※若手研究者の自立支援や登用を進めるための環境整備の状況
※国内外の大学院生の教育に対する関与 等

3. 国際共同利用・共同研究拠点の体制

- ※運営委員会等を中心とした体制を記入（全体的な体制が分かるように組織図等を用いて記入）
※ネットワークの構成図と役割分担についても記入

(1) 運営委員会の状況

※運営委員会の国際共同利用・共同研究拠点における位置付け・役割
※設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(2) 国際的な動向を把握し、運営に反映するための体制整備の状況

(3) 共同利用・共同研究の課題の公募方法

※国際共同利用・共同研究拠点としての研究課題等の公募・採択方法
※採択を審議する組織の設置規則（案）及び委員名簿（案）を別途添付

(4) 共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対する支援体制

※国際共同利用・共同研究拠点の事務体制（組織図等を記入）
※外国人研究者のための英語による職務遂行が可能な職員の配置状況 等

(5) 共同利用・共同研究に関する情報提供・情報発信

※共同利用・共同研究に関する情報提供の内容・方法

※共同利用・共同研究による研究成果の情報発信の仕組み 等

※共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況【様式4】

4. 研究者コミュニティ等の状況【様式5】

事務担当責任者	フリガナ 氏 名		所属部署 役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			

ネットワークにおけるこれまでの研究成果・取組等の状況

1. 研究成果等の状況

(1) 主な研究実績(成果)

○過去3年間における国際的な水準に照らして質が高いと認められる主な研究成果(3件まで)

No.	年度	研究成果の概要	学術的意義又は社会・経済・文化的意義	関係研究者名
1				
2				
3				

(2) 受賞状況

○過去3年間における国際的な賞の受賞状況(5件まで)

受賞者氏名	賞名	受賞年月	受賞対象となった研究課題名等

(3) ネットワークに所属する者が発表した論文の総数
(共同利用・共同研究による成果であるか否かを問わない)

区分	平成27年					平成28年				
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合
化学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
物理学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
工学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
うち国際学術誌			#DIV/0!		#DIV/0!			#DIV/0!		#DIV/0!

区分	平成29年					平均	
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

○分野の特性に応じ、論文以外に適切な評価指標がある場合には当該指標と、当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載してください。

2. 国際的な活動状況

(1) 国際的な研究プロジェクトへの参加状況

総数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
年度	参加期間	相手国名	研究機関名	研究プロジェクト等の概要・成果	関係研究者名
平成27年度					
平成28年度					
平成29年度					

(2) 国際的な研究プロジェクトの長を務めた研究者の在籍状況

代表研究者名	研究プロジェクト等の概要・成果	実施期間	参加者(国の規模)

(3) 有力な国際会議等での講演・発表・報告等の実施状況

総数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	
開催期間	形態(区分)	国際会議等の名称	概要		参加者(国)の規模

(4) 研究者の海外派遣状況・海外研究者の招へい状況

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況	派遣状況	招へい状況
合計	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
事業区分	文部科学省事業							
	日本学術振興会事業							
	当該法人による事業							
	その他の事業							
相手国	①アジア							
	②北米							
	③中南米							
	④ヨーロッパ							
	⑤オセアニア							
	⑥中東							
	⑦アフリカ							

(5) 学術国際交流協定の状況

総数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	[単位:人]		
年度	締結年月	終了予定年月	相手国	機関名	協定名	分野	受入人数	派遣人数
平成27年度								
	合計						0	0
	平成28年度							
合計						0	0	
平成29年度		(例) 平成29年1月	平成31年12月	〇〇国	□□大学△△研究所	〇〇分野における学術国際交流協定	〇〇分野	6
	合計						6	3
	平均						2	1

(6) 国際研究協力活動の状況

[単位:人]

年度	事業名	概要	受入人数	派遣人数
平成27年度				
	合計		0	0
	平成28年度			
合計		0	0	
平成29年度				
	合計		0	0

3. 人材育成等に関する取組状況

(1) 大学院生等の受入状況

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
		うち外国人		うち外国人		うち外国人		うち外国人
博士後期課程								
うち社会人DC								
修士・博士前期課程								
うち社会人MC								
学 部 生								
合 計	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	(0.0)

(2) 当該研究所等・施設を利用して学位を取得した大学院生数

[単位:人]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外	学内	学外
博士号取得者数								

(3) 留学生の受入状況

[単位:人]

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
①アジア				
②北米				
③中南米				
④ヨーロッパ				
⑤オセアニア				
⑥中東				
⑦アフリカ				
合計	0	0	0	0

(4) 女性研究者や外国人研究者など人材の多様性確保のための支援・取組状況

(5) 研究不正、不適切な会計処理等に係る倫理教育の実施状況

共同利用・共同研究に供する施設、設備、資料、データベース等の状況

(1) 施設・設備の利用状況

No.	研究施設・設備名	性能	施設・設備の概要(スペック)及び目的								
			稼働状況		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均
使用者の所属機関			年間利用件数		年間利用件数		年間利用件数		年間利用件数		
			共同利用件数		共同利用件数		共同利用件数		共同利用件数		
1	学内(法人内)								#DIV/0!	#DIV/0!	
	国立大学								#DIV/0!	#DIV/0!	
	公立大学								#DIV/0!	#DIV/0!	
	私立大学								#DIV/0!	#DIV/0!	
	大学共同利用機関法人								#DIV/0!	#DIV/0!	
	独立行政法人等の公的研究機関								#DIV/0!	#DIV/0!	
	民間の研究機関								#DIV/0!	#DIV/0!	
	海外の研究機関								#DIV/0!	#DIV/0!	
	その他								#DIV/0!	#DIV/0!	
	計			0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
				平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	稼働率(b/a)			#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%
	年間稼働可能時間(a)									#DIV/0!	
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)			0		0		0		0.0	
	共同利用に供した時間(c)									#DIV/0!	
	共同利用以外の研究に供した時間(d)									#DIV/0!	
	(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)									#DIV/0!	

※○又は△を記入した施設・設備については、設置年月日、設置時の導入経費及び年間の運転経費を以下に記入。

No.	研究施設・設備名	A	設置年月日		備考
		B	設置時の導入経費(千円)		
		C	運転経費(千円/年)		
1		A			※国費がある場合は主な財源(3件以内)を記入。 (例)運営費交付金、施設整備費補助金、科学研究費補助金
		B	国費	0	
			その他	0	
		C	平成27年度	0	
			平成28年度	0	
			平成29年度	0	

※運転経費については、平成27年度、平成28年度、平成29年度のそれぞれについて記入。

(2)資料の利用・提供状況

No.	資料名	価値	資料の概要		整備の状況、利用・提供方法				
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均			
1	保有数／利用・提供状況								
	保有数						#DIV/0!		
	利用・提供区分								
	利用者の所属機関	年間利用件数	年間利用件数	年間利用件数	年間利用件数	年間利用件数	年間利用件数		
		共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数		
	学内(法人内)						#DIV/0! #DIV/0!		
	国立大学						#DIV/0! #DIV/0!		
	公立大学						#DIV/0! #DIV/0!		
	私立大学						#DIV/0! #DIV/0!		
	大学共同利用機関法人						#DIV/0! #DIV/0!		
	独立行政法人等の公的研究機関						#DIV/0! #DIV/0!		
	民間の研究機関						#DIV/0! #DIV/0!		
	外国の研究機関						#DIV/0! #DIV/0!		
	その他						#DIV/0! #DIV/0!		
	計	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均		
	公開率(b/a)	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%	#DIV/0!	%
	年間公開可能時間(a)							#DIV/0!	
	年間公開時間(b)=(c)+(d)+(e)		0		0		0		0.0
	共同利用に供した時間(c)							#DIV/0!	
共同利用以外の研究に供した時間(d)							#DIV/0!		
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)							#DIV/0!		

(3) データベースの整備・公開状況

No.	データベース名	性能	仕様	蓄積情報の概要				公開方法			
1											
	蓄積数／利用状況			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均				
	蓄積量						#DIV/0!				
	利用者の所属機関			年間利用件数		年間利用件数		年間利用件数		年間利用件数	
				共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	共同利用件数	
	学内(法人内)							#DIV/0!	#DIV/0!		
	国立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	公立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	私立大学							#DIV/0!	#DIV/0!		
	大学共同利用機関法人							#DIV/0!	#DIV/0!		
	独立行政法人等の公的研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	民間の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	外国の研究機関							#DIV/0!	#DIV/0!		
	その他							#DIV/0!	#DIV/0!		
	計			0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均				
	稼働率(b/a)			#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %				
	年間稼働可能時間(a)						#DIV/0!				
	年間稼働時間(b)=(c)+(d)+(e)			0	0	0	0.0				
	共同利用に供した時間(c)						#DIV/0!				
共同利用以外の研究に供した時間(d)						#DIV/0!					
(c)、(d)以外の利用に供した時間(e)						#DIV/0!					

共同利用・共同研究の実績・成果

1. 共同利用・共同研究による特筆すべき国際的な研究成果

1	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
2	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
3	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
4	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名
5	成果の概要(150字程度)		
	当該成果をまとめた代表的な論文あるいは研究書等		
	発表年月	論文名(学術誌含む)又は研究書名(出版社含む)	研究代表者又は著作者名

※共同利用・共同研究による国際的に優れた研究成果や産業・社会活動等に大きな影響を与えた研究成果について5件まで厳選して記入。

2. 共同利用・共同研究が発展したプロジェクト等

プロジェクト名	主な財源	プロジェクト期間	プロジェクトの概要

※プロジェクト等が発展した共同利用・共同研究がある場合、そのプロジェクトの名称と財源(国の補助事業等)、期間、概要を記入。

3. 共同利用・共同研究課題の採択状況と実施状況

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	
公募状況	公募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際公募件数	件	件	件	#DIV/0! 件	
採択状況	応募件数(A)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択件数(B)	件	件	件	#DIV/0! 件	
	採択率(%) (B/A)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
	うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件	
実施状況	新規分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	継続分	公募型実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		公募型以外実施件数	件	件	件	#DIV/0! 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	件	件	件	#DIV/0! 件
	合計	公募型実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		公募型以外実施件数	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		合計	0 件	0 件	0 件	0.0 件
		うち国際共同研究	0 件	0 件	0 件	0.0 件

○国際共同研究の実施内容

No.	参加期間	相手国名	研究機関名	国際共同研究の概要	関係研究者名
1					
2					
3					
4					
5					

4. 共同利用・共同研究への参加状況

区分	平成27年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等の 公的研究機関										
民間の研究機関										
海外の研究機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平成28年度									
	機関数	受入人数			延べ人数					
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
学内(法人内)										
国立大学										
公立大学										
私立大学										
大学共同利用機関法人										
独立行政法人等の 公的研究機関										
民間の研究機関										
海外の研究機関										
その他										
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

ネットワーク(総括票)【様式3】

区分	平成29年度								
	機関数	受入人数				延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生		
学内(法人内)									
国立大学									
公立大学									
私立大学									
大学共同利用機関法人									
独立行政法人等の 公的研究機関									
民間の研究機関									
海外の研究機関									
その他									
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※下段には女性研究者数(内数)

区分	平均								
	機関数	受入人数				延べ人数			
		外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	外国人	若手研究者 (35歳以下)	大学院生		
学内(法人内)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
国立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
公立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
私立大学	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
大学共同利用機関法人	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
独立行政法人等の 公的研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
民間の研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
海外の研究機関	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※ 下段には女性研究者数(内数)

5. 共同利用・共同研究による成果として発表された論文数

(1) 共同利用・共同研究による成果として発表された論文の総数

区分	平成27年					平成28年				
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合
化学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
材料科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
物理学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
計算機&数学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
工学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
環境&地球科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
臨床医学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
基礎生命科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
人文・社会科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!
うち国際学術誌	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!

区分	平成29年					平均	
	論文数	国際共著論文数	国際共著論文の割合	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
材料科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
物理学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
計算機&数学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
工学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
環境&地球科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
臨床医学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
基礎生命科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
人文・社会科学	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
合計	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	0

(2) 申請施設に所属する者(大学院生を含む)のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数	TOP10%補正論文の割合	論文数	TOP10%補正論文数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

ネットワーク(総括票)【様式3】

(3) 申請施設に所属する者と申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)の論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※右側の()内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--	--

(4) 申請施設以外に所属する者(国外の研究機関に所属する者を除く)のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞) がある論文のみを記入。

ネットワーク(総括票)【様式3】

(5) 国内の研究機関(申請施設を含む)に所属する者と国外の研究機関に所属する者の論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文・社会科学	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	()		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	0 (0)	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設に所属する者を含まない論文については、申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞)がある論文のみを記入。

※右側の()内には、申請施設に所属する者(大学院生を含む)が、特に重要な役割・高い貢献(ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー等)を果たしている論文(内数)を記入し、ファーストオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー以外で、論文における重要な役割を果たしているものとして、内数に計上しているものがある場合は、その役割を以下に記入。

--

(6) 国外の研究機関に所属する者のみの論文

区分	平成27年			平成28年			平成29年			平均	
	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数	TOP10% 補正論文 の割合	論文数	TOP10% 補正論文 数
化学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
材料科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
物理学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
計算機&数学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
工学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
環境&地球科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
臨床医学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
基礎生命科学			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人文社会系			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
合計	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0
うち国際学術誌			#DIV/0!			#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※年度ではなく、年別の数を記入。

※申請施設における共同利用・共同研究の成果である旨の Acknowledgement (謝辞)がある論文のみを記入。

(7)高いインパクトファクターを持つ雑誌等への掲載状況

雑誌名	出版社名	インパクト ファクター 値	掲載論 文数	主なもの		
				掲載年月日	論文名	発表者名

※申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

(注)インパクトファクターを用いることが適当ではない分野等の場合は、以下に適切な指標とその理由を記載の上で、掲載雑誌名等を記入。

インパクトファクター以外の指標とその理由						
雑誌等名	出版社等名	掲載論 文数	主なもの			
			掲載年月日	論文名	発表者名	

※申請施設以外に所属する研究者については、発表者名にアンダーラインを付す。

6. 人文・社会科学分野の特性を踏まえた論文以外の指標

- (1) 英語又は英語以外の外国語で書かれ、海外で刊行された単著・国際共著書、英語又は英語以外の外国語で書かれた国際会議の報告書、研究対象国の言語で書かれ、研究対象国の有力ジャーナルや研究書に掲載された論文の刊行実績(出版社を含む)

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入。
※年度ではなく、年別の数を記入。

- (2) 研究成果やデータベース等の学術資源が国際機関や外国政府・中央銀行等の政策や調査報告書及び海外の研究機関の調査報告書等で利用・引用された実績

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年～平成29年の実績を記入。
※年度ではなく、年別の数を記入。

- (3) 有力な国際会議や海外での会議・研究会への招待講演・招待発表・招待報告の実績

--

※申請施設において、上記のうち適切な指標を選択し(複数でも可)、平成27年度～平成29年度の実績を記入。

- (4) (1)～(3)以外に分野の特性に応じた適切な評価指標がある場合は、当該指標と当該分野におけるその評価指標の妥当性・重要性を記載するとともにその成果の実績を記載してください。

--

共同利用・共同研究に関するシンポジウム等の実施状況

(1) 主に研究者を対象としたもの

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0 (0)	0 (0)
28							0 (0)	0 (0)
29							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○主なシンポジウム、研究会等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	研究会等名称	概要	参加人数

○参加人数の算定方法

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入。
 ※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入。

(2) (1)のうち、国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・研究会・ワークショップ		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0 (0)	0 (0)
28							0 (0)	0 (0)
29							0 (0)	0 (0)
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0 (0)	0 (0)

○主な国内の関連研究者向けに海外の研究動向や国際共同研究の成果等を紹介するためのシンポジウム等の開催状況

開催期間	形態(区分)	研究会等名称	概要	参加人数

○参加人数の算定方法

※件数の下段には、国際シンポジウム等の回数(内数)を記入。
 ※参加人数の下段には外国人の参加人数(内数)を記入。

(3)主に研究者以外の者(社会人・学生等)を対象としたもの

年度	シンポジウム・講演会		セミナー・公開講座		その他		合計	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
27							0	0
28							0	0
29							0	0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0

○主なシンポジウム、公開講演会、施設の一般公開等の開催状況

開催期間	形態(区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数

(4)国際シンポジウム等への参加状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
参加件数				#DIV/0!

○参加した主な国際シンポジウム等

No.	開催時期	国際シンポジウム等名称	参加人数
1			
2			
3			
4			
5			

新規認定申請書

【ネットワーク型拠点・連携ネットワーク型拠点用】

【個票】

大 学 名			
申 請 者 (学 長 名)			
拠 点 の 名 称			
申 請 施 設 の 名 称			
所 在 地		設置年月	昭和（平成） 年 月
研 究 分 野			
申 請 施 設 の 代 表 者	フリガナ 氏 名	生年月日	昭和 年 月 日（ 歳）
	所 属 部 署	役 職 名	
1. 国際共同利用・共同研究拠点における申請施設の役割・必要性			
※ネットワーク型拠点の中での申請施設の役割 ※ネットワーク型拠点に申請施設が加わることによる効果 ※ネットワーク型拠点に申請施設が加わる必要性 等			

2. 国際共同利用・共同研究拠点の運営に対する全学的支援

※拠点における専任研究者・教育研究支援者等の措置状況
 ※若手研究者の育成の取組に対する支援状況（予算・人員の配分等）
 ※学内予算の配分状況 等

3. 申請施設の概要

※申請施設の組織
 ※学則その他大学の内規で申請施設の設置を規定しているものの写しを添付

組織（組織図等）

(1) 申請施設における人員、予算等の状況【様式6】

(2) 申請施設における競争的資金の採択等の状況【様式7】

事務担当責任者	フリガナ		所属部署	
	氏 名		役 職 名	
	所 在 地	〒		
	T E L		F A X	
	E - m a i l			

2. 人材の流動性

(1) 人材の流動状況

区分	平成28年度						平成29年度						平成30年度					
	転入等			転出等			転入等			転出等			転入等			転出等		
	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)	総数	(内部昇任者数)		総数	(退職者数)	(転出者数)
		(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)					(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)					(新規採用者・転入者数)	(内部昇任者数)			
教授	0			0			0			0			0			0		
准教授	0			0			0			0			0			0		
講師	0			0			0			0			0			0		
助教	0			0			0			0			0			0		
助手	0			0			0			0			0			0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 転入元・転入先一覧

※上記表の転入者については転入元の、転出者については転出先の機関名及び職名を記入。

平成28年度							
職名	転入元機関名		転入元職名	職名	転出先機関名		転出先職名
教授				教授			
准教授				准教授			
講師				講師			
助教				助教			
助手				助手			

平成29年度							
職名	転入元機関名		転入元職名	職名	転出先機関名		転出先職名
教授				教授			
准教授				准教授			
講師				講師			
助教				助教			
助手				助手			

平成30年度							
職名	転入元機関名		転入元職名	職名	転出先機関名		転出先職名
教授				教授			
准教授				准教授			
講師				講師			
助教				助教			
助手				助手			

3. 予算

(1) 決算額

[単位:百万円]

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均	
	決算額		決算額		決算額		決算額	
		うち、国立大学法人運営費交付金		うち、国立大学法人運営費交付金		うち、国立大学法人運営費交付金		うち、国立大学法人運営費交付金
支出合計								
うち、人件費								
うち、運営委員会経費(a)								
うち、共同研究費(b)								
うち、共同研究旅費(c)								
うち、その他								
計(a+b+c)	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 教員1人当たりの研究費

[単位:百万円]

区分	教員数(a)	研究費総額(外部資金を含む)(b)	研究費総額(外部資金を除く)(c)	各研究部門(研究者)等に研究費として配分した額(d)	教員1人当たりの研究費(外部資金を含む)(b)/(a)	教員1人当たりの研究費(外部資金を除く)(c)/(a)	教員1人当たりの研究費(各研究部門(研究者)等に研究費として配分した額)(d)/(a)
平成27年度							
平成28年度							
平成29年度							
平均							

※(c)-(d)の経費分の額(所長裁量経費等機動的な研究費配分を可能とする制度・取組)の配分状況

年度	事項名	配分方法(決定体制を含む)	配分対象(配分対象者、事業者名等)	経費等(百万円)	捻出財源
(例)平成29年度	所長裁量経費	研究所に属する個々の研究者	研究所に属する個々の研究者	30	運営費交付金(基盤的経費)の一部

申請施設における競争的資金の採択等の状況

1. 競争的資金等の採択状況

区分	平成27年度					
	区分	件数		採択率 %	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成27年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費

科学研究費+その他の補助金等

教員数 :

#DIV/0! 件

#DIV/0! 件

	人
#DIV/0!	百万円
#DIV/0!	百万円

主なその他の補助金等の内訳(平成27年度)

[単位:件、百万円]

No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

ネットワーク(個票)【様式7】

区分	平成28年度					
	区分	件数		採択率	金額(千円)	
		応募 件	採択 件		合計 (千円)	上:直接経費 下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
新学術領域研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(S)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
基盤研究(C)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
挑戦的萌芽研究	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(A)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
若手研究(B)	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究活動スタート支援	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
研究成果公開促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
特別研究促進費	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
国際共同研究加速基金	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規 全体			#DIV/0! #DIV/0!	0	
小計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0
計	新規 全体	0 0	0 0	#DIV/0! #DIV/0!	0 0	0 0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

○平成28年度における教員一人当たりの採択件数及び金額:

科学研究費	: #DIV/0! 件	: #DIV/0! 人
科学研究費+その他の補助金等	: #DIV/0! 件	: #DIV/0! 人

主なその他の補助金等の内訳(平成29年度)				[単位:件、百万円]
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

ネットワーク(個票)【様式7】

区分	平成29年度					
	件数		採択率	金額(千円)		
	区分	応募		採択	合計(千円)	上:直接経費 下:間接経費
	件	件	%			
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
新学術領域研究	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
基盤研究(S)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
基盤研究(A)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
基盤研究(B)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
基盤研究(C)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
挑戦的萌芽研究	新規	-	-	-		0
	全体			#DIV/0!		0
挑戦的研究(開拓)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
挑戦的研究(萌芽)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
若手研究(A)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
若手研究(B)	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
研究活動スタート支援	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
研究成果公開促進費	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
特別研究促進費	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
国際共同研究加速基金	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
小計	新規	0	0	#DIV/0!		0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規			#DIV/0!		0
	全体			#DIV/0!		0
小計	新規	0	0	#DIV/0!		0
	全体	0	0	#DIV/0!		0
計	新規	0	0	#DIV/0!		0
	全体	0	0	#DIV/0!		0

※全体には、新規課題及び継続課題を足した数値を記入。

なお、科学研究費助成事業の挑戦的萌芽研究の新規採択は、平成28年度までのため、継続課題の数値を記入。

○平成29年度における教員一人当たりの採択件数及び金額：

教員数	：		人
科学研究費	：	#DIV/0!	件
科学研究費	：	#DIV/0!	百万円
科学研究費＋その他の補助金等	：	#DIV/0!	件
科学研究費＋その他の補助金等	：	#DIV/0!	百万円

主なその他の補助金等の内訳(平成29年度)				[単位:件、百万円]
No.	研究課題名(制度名)	支出機関名	受入額	期間
1				
2				
3				
4				
5				

ネットワーク(個票)【様式7】

区分	平均					
	件数			採択率	金額(千円)	
	区分	応募	採択		合計 (千円)	上:直接経費
		件	件	%		下:間接経費
科学研究費助成事業						
特別推進研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
新学術領域研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
基盤研究(S)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
基盤研究(A)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
基盤研究(B)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
基盤研究(C)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
挑戦的萌芽研究	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
挑戦的研究(開拓)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
挑戦的研究(萌芽)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
若手研究(A)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
若手研究(B)	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
研究活動スタート支援	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
研究成果公開促進費	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
特別研究促進費	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
国際共同研究加速基金	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
小計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
その他の補助金等						
科学研究費を除く文部科学省の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
文部科学省以外の府省庁の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
地方公共団体・民間助成団体等の補助金等	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
小計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
計	新規	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

2. その他の外部資金獲得状況

(1) 民間等との共同研究

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位:千円〕

No.	研究課題名	相手方機関名	受入額	期間
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	株式会社〇〇	200	H28~H29
2				
3				
4				
5				

(2) 受託研究

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位:千円〕

No.	研究課題名(制度名)	相手方機関名	受入額	期間
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	(独)〇〇研究機構	120	H28~H31
2				
3				
4				
5				

(3) 海外からの資金獲得状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
件数				
金額				

〔単位:千円〕

No.	研究課題名(制度名)	相手方機関名	受入額	機関
1	(例)〇〇に関する研究(〇〇〇〇プログラム)	〇〇機関(国名:〇〇)	300	H29~H30
2				
3				
4				
5				